

1	表象文化論 EGE-CCS-110	選択 2単位 1年前期	
Culture and Representation			
全学科1年全組 非常勤講師 笠間はるな			
授業の達成目標	授業形態		
表象文化論についての基礎的知識を習得するとともに、表象を多角的に捉え、考察する力を身につける。	○ 単独 (1人が全回担当)		
	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
本講義は、諸メディア（芸術・映画・アニメ・マンガ等）で再現・表現された様々なイメージを対象に、その歴史的背景や文化的文脈とのかかわりから論じるものである。まず表象文化論について概説した上で、主に「他者」がどのように表現されてきたのかに注目しつつ、時代とテーマを横断してイメージを解釈し、同時に広く文化・時代状況の検討を行う。	教職科目（工業）		
	教職科目（情報）		
	地域志向科目		
実務経験を活かした教育について	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	イントロダクション	シラバス通読の上、準備学習を行う（予習）。イントロダクションの内容の確認と感想をプリントに書き込む（復習）。	4
第2回	「他者とは何か①」－「他者」と「自己」－	前回（「イントロダクション」）配付プリントの確認（予習）。「他者とは何か①」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第3回	「他者とは何か②」－恋愛と階級－	前回（「他者とは何か①」）配付プリントの確認（予習）。「他者とは何か②」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第4回	「他者としての動物①」－交流の不／可能性－	前回（「他者とは何か②」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての動物①」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第5回	「他者としての動物②」－近代日本の動物観－	前回（「他者としての動物①」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての動物②」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第6回	「他者としての怪獣①」－交錯する時代①－	前回（「他者としての動物②」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての怪獣①」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第7回	「他者としての怪獣②」－交錯する時代②－	前回（「他者としての怪獣①」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての怪獣②」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第8回	「他者としての権力①」－〈悪〉をめぐるまなざし－	前回（「他者としての怪獣②」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての権力①」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第9回	「他者としての権力②」－機械と人間－	前回（「他者としての権力①」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての権力②」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第10回	「他者としての権力③」－人間と身体－	前回（「他者としての権力②」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての権力③」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第11回	「他者としての怪異①」－怪異とは何か－	前回（「他者としての権力③」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての怪異①」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第12回	「他者としての怪異②」－近代文学と怪異－	前回（「他者としての怪異①」）配付プリントの確認（予習）。「他者としての怪異②」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第13回	中間課題返却・解説／期末試験説明・準備	前回（「他者としての怪異②」）配付プリントの確認（予習）。中間課題のふりかえり・書き直し。	4
第14回	「他者としての自然」－東北表象の近現代史－	配付プリント全ての確認（予習）。「他者としての自然」鑑賞内容の確認と「感想・意見」記述（復習）。	4
第15回	まとめと試験	配付プリント全ての確認（予習）と「感想・意見」の総まとめ（復習）。	4
教科書・参考書等			
講義ごとにプリントを配付し、それによって講義を進める。参考書がある場合は講義中に紹介する。			
成績評価方法・基準			
最終テストにより評価する。			

2	現代社会論 EGE-CCS-111	選択 2単位 1年前期	
Modern Sociology			
全学科1年全組 非常勤講師 牛渡 亮			
授業の達成目標	日本社会が高度経済成長のなかでいかに変容してきたのかについて理解し、現代日本社会の特徴を理解するための視点を養う。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	日本社会は戦後の高度経済成長を通して大きく変貌を遂げてきた。本講義では、私たちが生きている現代日本社会の成り立ちや特徴を理解することを目的に、高度経済成長が私たちの生活にもたらした変化、その意味について解説する。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習としてシラバス通読の上、準備学習を行う。配付されたプリントを参考に、社会学の基本的な立場やその視点について復習する。	4
第2回	高度経済成長がもたらしたもの	配付プリントを参考に、高度経済成長期の日本社会に起きた変化について予習、復習を行う。	4
第3回	産業化と家族の変化	配付プリントを参考に、高度経済成長期以降の家族の特徴について予習、復習を行う。	4
第4回	性別とジェンダー	配付プリントを参考に、性別とジェンダーの違い、ジェンダーに関連する社会問題について予習、復習をする。	4
第5回	社会的自己の構造	配付プリントを参考に、人間の自己と社会との関係について予習と復習をする。	4
第6回	親密圏の変容	配付プリントを参考に、高度経済成長期以降の親密圏の変容について予習と復習をする。	4
第7回	感情労働の時代	配付プリントを参考に、感情労働の特徴、感情労働に関連する社会問題について予習と復習をする。	4
第8回	現代日本と非婚化・晩婚化	配付プリントを参考に、現代日本における非婚化・晩婚化の現状、その要因について予習と復習をする。	4
第9回	現代日本における少子化	配付プリントを参考に、現代日本における少子化の現状、その要因について予習と復習をする。	4
第10回	逸脱とラベリング	配付プリントを参考に、逸脱の社会的意味、ラベリングに関連する社会問題について予習と復習をする。	4
第11回	素質と環境	配付プリントを参考に、人間の成長に対する素質と環境の影響について予習と復習をする。	4
第12回	文化と再生産	配付プリントを参考に、現代社会における階層の再生産とそこで文化の果たす役割について予習と復習をする。	4
第13回	現代の環境問題	配付プリントを参考に、現代日本における環境問題への取り組みについて予習と復習をする。	4
第14回	現代日本における子どもの貧困	配付プリントを参考に、現代日本における子どもの貧困問題の現状、その要因について予習と復習をする。	4
第15回	まとめ	第14回までの配付プリントを参考に、現代日本社会の特徴や社会問題について予習と復習をする。	4
教科書・参考書等	毎回、プリントを配付し、それにしたがって授業を進める。教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。		
成績評価方法・基準	課題レポート (30%) と期末試験 (70%) によって総合的に評価する。課題については、授業時に全体に対しフィードバックを行う。		

3	市民と法 EGE-CCS-312	選択 2単位 2年前期	
Introduction to Law			
全学科2年全組 准教授 片山 文雄			
授業の達成目標	法・裁判の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。法から社会を知ること。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	社会が複雑化するなか、トラブル解決の手段としての法・裁判はますます重要になっている。裁判員制度のように、市民が法・裁判にいっそう深くかかわる機会もふえてきた。本講義では、法・裁判のしくみと法的な考え方について、具体的に、根本から考える。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	序	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	法とは何か	法とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	法の種類	法の種類について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	裁判とは何か	裁判とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	裁判の種類：民事裁判と刑事裁判	民事裁判と刑事裁判について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	民事裁判 その実体 (1) 契約法	契約法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	民事裁判 その実体 (2) 物権法、不法行為法	物権法や不法行為法について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	民事裁判 その手続	民事裁判の手続きについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	刑事裁判 その実体 (1) 犯罪	刑事裁判における犯罪について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	刑事裁判 その実体 (2) 刑罰	刑事裁判における刑罰について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	刑事裁判 その手続 (1) 捜査	刑事裁判における捜査について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	刑事裁判 その手続 (2) 起訴から判決まで	刑事裁判における起訴から判決までの流れについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	裁判所・裁判官	裁判所や裁判官について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	裁判員制度	裁判員制度について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業の配付資料などを確認して試験に備えて予習する。試験を復習する。	4
教科書・参考書等	自作プリントによる。ほか教室でそのつど指示する。		
成績評価方法・基準	期末試験による。		

4	暮らしと心理学 EGE-CCS-313	選択 2単位 2年前期	
Everyday Life and Psychology			
E・C・K 2年全組・T 2年1組 教 授 小川 和久 A 2年全組・T 2年2組 非常勤講師 千葉 柗作			
授業の達成目標	授業形態		
日常生活場面での人間行動を心理学の立場からとらえることで、自己理解と他者理解の視点を学ぶ。また、精神的健康を維持するために、心と身体の関係性を理解するとともに、ストレスに関する理解を深め、その知識と対処法を実生活に生かせることを目標とする。	○ 単独 (1人が全回担当)		
	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
パーソナリティ、適応、ストレスの問題等、一般心理学の基礎を知るとともに、人間行動の心理が日々の社会生活とどのように関わっているかを理解していく。とくに現代社会はストレス社会と言われて久しい。メンタルヘルスの問題を理解し、ストレス軽減のために必要な心身のストレスマネジメントの方法を考えていく。	教職科目 (工業)		
	教職科目 (情報)		
	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
実務経験を活かした教育について	アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	心の健康とは何か	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノートを整 理して復習する。	4
第2回	パーソナリティ①：類型論	「パーソナリティ理論」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第3回	パーソナリティ②：特性論	「パーソナリティ理論」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第4回	パーソナリティ③：タイプA行動パターン	「タイプA行動パターン」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第5回	交流分析：構造分析・交流パターン分析	「交流分析」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第6回	欲求と適応①：欲求階層理論	「欲求階層理論」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第7回	欲求と適応②：フラストレーション反応	「フラストレーション」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第8回	欲求と適応③：葛藤	「葛藤」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第9回	ストレスの概念	「ストレスの概念」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第10回	ストレス理論	「ストレス理論」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第11回	リフレーミング	「リフレーミング」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第12回	ストレスと心身症	「心身症」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第13回	コーピング	「コーピング」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第14回	心理療法とストレスマネジメント	「ストレスマネジメント」について調べて予習する。ノートを整 理して復習する。	4
第15回	まとめと試験	予習として、これまでの関連キーワードを整理してくる。配付資料 をもとに、すべての学習内容を復習して試験に備える。	4
教科書・参考書等			
テキスト 自作資料 参考書・参考資料等 適宜指示			
成績評価方法・基準			
定期試験の結果 (70%) とレポートの内容 (30%) にもとづき総合的に評価する。			

5	市民と政治 EGE-CCS-414	選択 2単位 2年後期	
	Introduction to Politics		
全学科 2年全組 准教授 片山 文雄			
授業の達成目標		授業形態	
日本政治の現状と考え方に触れ、基礎的な知識を修得し、政治的判断力を養うこと。政治から社会を知ること。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
政治はわれわれの社会生活を左右する。誰も政治から逃げられない。だから誰もが政治のしくみを理解し、その正しい方向性について考えるべきである。本講義では、政治のしくみと政治的な考え方について、そして現代日本における論点について、具体的に、根本から考える。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	序	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	政治とは何か	政治とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	権力	権力とは何かについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	国家 (1) ステイト	国家を形成する「ステイト」について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	国家 (2) ネイション	国家を形成する「ネイション」について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	民主主義	民主主義について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	日本政治の枠組	日本政治の枠組みについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	政治家	政治家について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	政党 (1) 政党政治	政党政治について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	政党 (2) 政党のタイプ	政党のタイプについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	選挙制度	選挙制度について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	行政部	行政部について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	利益団体	利益団体について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	マスメディア	マスメディアについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業の配付資料などを確認して試験に備えて予習する。試験を復習する。	4
教科書・参考書等			
自作プリントによる。ほか教室でそのつど指示する。			
成績評価方法・基準			
期末試験による。			

6	産業社会と心理学 EGE-CCS-415	選択 2単位 2年後期	
Industrial Society and Psychology			
全学科2年全組 教授 小川 和久			
授業の達成目標	授業形態		
幸福で安全な人間社会をつくるため、心理学が果たす役割は多々ある。人間行動の基礎を理解することで、ヒューマンエラーや産業事故を防止し、幸福で安全な社会生活を送るための視点を学ぶ。	<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)		
	<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
この授業では、知覚、認知、注意、態度、適性など、主に認知心理学、産業心理学、交通心理学、社会心理学のトピックスを取りあげながら、産業事故の背景にある人間側の要因を理解していく。また、産業社会の安全を維持するための心理学アプローチについて考察する。さらに、人間行動の基礎を理解するために、簡便な心理実験を複数回実施する。自ら実験材料を作成し実験を実施するなど、能動的な体験学習を通して、人間行動の原理についての発見学習を促していく。またグループ作業による共同でのデータ整理と分析を通して、課題探求の意識を深めていく。	<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業)		
	<input type="checkbox"/> 教職科目 (情報)		
	<input type="checkbox"/> 地域志向科目		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当		
実務経験を活かした教育について	<input type="radio"/> アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	知覚のしくみ①：ものの見え方	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。ノートを整理して復習する。	4
第2回	知覚のしくみ②：錯視の現象	「錯視」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第3回	知覚のしくみ③：知覚と安全	「知覚」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第4回	知覚のしくみ④：奥行知覚	「奥行知覚」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第5回	注意とは①：注意の種類と特徴	「注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第6回	注意とは②：注意の範囲	「注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第7回	注意とは③：選択的注意・分割的注意	「注意の理論」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第8回	注意とは④：視覚的注意	「視覚的注意」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第9回	動作と反応①：反応時間	「反応時間」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第10回	動作と反応②：反応時間と安全	「反応時間」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第11回	動作と反応③：知覚-運動系の協応	「知覚と運動の協応」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第12回	認知と態度：リスクテイキングの心理	「リスクテイキング」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第13回	ヒューマンエラー①：産業事故	「産業事故」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第14回	ヒューマンエラー②：認知モデル	「ヒューマンエラー」について調べて予習する。ノートを整理して復習する。	4
第15回	まとめと試験	予習として、これまでの関連キーワードを整理してくる。配付資料をもとに、すべての学習内容を復習して試験に備える。	4
教科書・参考書等			
テキスト 自作資料 参考書・参考資料等 適宜指示			
成績評価方法・基準			
定期試験の結果 (70%) とレポートの内容 (30%) にもとづき総合的に評価する。			

7	情報化社会の経済 EGE-CCS-416	選択 2単位 2年後期	
Information Society Economics			
全学科 2年全組 非常勤講師 舩谷 謙二			
授業の達成目標	情報化社会における基本的な経済の仕組みを理解し、日本経済の現状を分析する力を養います。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	構造改革、累積する国債、少子・高齢化と年金といった問題が山積している日本経済は、この先、安定的な成長路線に復帰できるのだろうか。この講義では、戦後の復興期、高度成長期から平成の「失われた20年」までを振り返りながら、第10回までは日本経済、それ以降は日本企業の全体像を解説し、金融・財政の仕組みにも言及しながら、今日の我々をとりまく経済の諸問題について考察します。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	今日の情報化社会と経済 (オリエンテーション)	予習としてシラバス通読の上、準備学習を行う。配付プリント (今日の情報化社会と経済) 読み返し、復習する。	
第2回	日本と世界の経済の概況	配付プリント (日本と世界の経済の概況) を使い予習する。た配付プリント読み返し、復習する。	
第3回	戦後日本経済の歩み (復興期を中心に)	配付プリント (戦後日本経済の歩み) を使い予習する。配付プリント (戦後日本経済の歩み) 読み返し、復習する。	
第4回	高度経済成長の時代	配付プリント (高度経済成長の時代) を使い予習する。配付プリント (高度経済成長の時代) 読み返し、復習する。	
第5回	ニクソン・ショックとオイルショック	配付プリント (ニクソン・ショックとオイルショック) を使い予習する。プリント読み返し、復習する。	
第6回	貨幣と金融システム	配付プリント (貨幣と金融システム) を使い予習する。配付プリント (貨幣と金融システム) 読み返し、復習する。	
第7回	バブル経済の発生と崩壊	配付プリント (バブル経済の発生と崩壊) を使い予習する。配付プリント読み返し、復習する。	
第8回	失われた20年	配付プリント (失われた20年) を使い予習する。配付プリント (失われた20年) 読み返し、復習する。	
第9回	少子・高齢化と社会保障	配付プリント (少子・高齢化と社会保障) を使い予習する。配付プリント読み返し、復習する。	
第10回	世界経済危機と日本経済	配付プリント (世界経済危機と日本経済) を使い予習する。配付プリント読み返し、復習する。	
第11回	情報化社会の企業経営	配付プリント (情報化社会の企業経営) を使い予習する。配付プリント (情報化社会の企業経営) 読み返し、復習する。	
第12回	企業経営と人・モノ・情報	配付プリント (企業経営と人・モノ・情報) を使い予習する。配付プリントを読み返し、復習する。	
第13回	企業経営と金融	配付プリント (企業経営と金融) を使い予習する。配付プリント (企業経営と金融) 読み返し、復習する。	
第14回	企業経営と企業統治・社会的責任	配付プリント (企業経営と企業統治・社会的責任) を使い予習する。配付プリント読み返し、復習する。	
第15回	まとめ	配付プリント (まとめ) を使い予習する。配付プリント (まとめ) 読み返し、復習する。	
教科書・参考書等			
教科書は使わず、毎回プリントを配付し、それにしたがって講義を進めます。映像資料も使います。参考書がある場合は講義中に紹介します。			
成績評価方法・基準			
課題レポート (70%) と小テスト (30%) で総合的に評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

8	東北文化史 AGE-CCS-417	選択 2単位 2年後期	
Cultural history of Tohoku			
全学科 2年全組 非常勤講師 吉原 健雄			
授業の達成目標	授業形態		
東北を舞台としたアニメ、漫画、映画、小説、評論を通じて、東北の諸地域がどのように意識され、表現されているかを考える。宮城・山形・青森・岩手の各地域をめぐるイメージや価値観が従来どのように形成されてきたかをあとのづけ、現在どのように変化しているかを理解することを目標とする。	<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)		
	<input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	<input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	<input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
東北地方の各地域は中央の都に対する周縁の地方として位置づけられ、地方・自然・人情・懐古などのイメージで表現されてきた。この授業では、アニメなどのサブカルチャーを含めて様々な表現作品から東北のイメージを探り、東日本大震災を経験した現在において作られつつある価値観を考えていく。参加者には、自分の経験や知識をふまえた、積極的な意見表明を期待する。	<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業)		
	<input type="checkbox"/> 教職科目 (情報)		
	<input type="radio"/> 地域志向科目		
	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当		
実務経験を活かした教育について	アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	視点と方法	予習としてシラパスを通読の上、準備学習を行う。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第2回	東北の現在1ー『おもひでぼろぼろ』を読む	漫画・アニメ『おもひでぼろぼろ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第3回	東北の現在1ー『おもひでぼろぼろ』を考える。	『おもひでぼろぼろ』の価値観について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第4回	東北の現在3ー『くまみこ』	漫画・アニメ『くまみこ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第5回	東北の現在4ー『奇跡のリンゴ』	ドキュメンタリー・映画『奇跡のリンゴ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第6回	東北の歴史1ー『アテルイ』	アニメ『アテルイ』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第7回	東北の歴史2ー『八甲田山』	小説・映画『八甲田山』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第8回	東北の歴史3ー『ものいわぬ農民』	『ものいわぬ農民』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第9回	震災の記憶1ー『あまちゃん』	ドラマ『あまちゃん』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。。	4
第10回	震災の記憶2ー『そして、星の輝く夜がくる』	小説『そして、星の輝く夜がくる』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第11回	震災の記憶3ー『霊性の震災学』	『霊性の震災学』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第12回	震災の記憶4ー『津波の霊たち』	『津波の霊たち』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第13回	震災の記憶5ー『はじめての福島学』	『はじめての福島学』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第14回	震災の記憶6ー『みらいへの手紙』	『みらいへの手紙』について予習する。プリントの空欄に書き込みながら授業内容を復習する。	4
第15回	まとめと試験	これまでの授業内容を復習し、試験の準備をする (予習)。プリントの総まとめを行う (復習)。	4
教科書・参考書等			
教科書は使用しない。毎回プリントを配付する。参考書は適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業終了時に提出する意見・疑問 (30%) と期末試験 (70%) で評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

9	日本国憲法 AGE-CCS-518 The Constitution of Japan 全学科3年全組 教授 片山 文雄	選択 2単位 3年前期	
授業の達成目標		授業形態	
日本国憲法の歴史と考え方に触れ、基礎的な知識を修得すること。憲法から社会を知ること。		<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small> <input type="radio"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一纏に担当)</small> <input type="radio"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small> <input type="radio"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要		該当科目	
いま憲法をめぐる議論は極めて重要な政治的論点になっている。憲法の基本と役割を知ることがますます必要である。本講義では、憲法とは何か、その機能は何かについて、具体的に、根本から考える。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) 地域志向科目 実務経験のある教員担当 アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	序	予習としてシラバスを読んでくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	憲法の原理：立憲主義と民主主義	立憲主義と民主主義について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	日本国憲法成立史	日本国憲法成立の歩みについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	国民主権	国民主権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	国会	国会について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	内閣	内閣について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	裁判所	裁判所について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	人権の原理	基本的人権の原理について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	人権保障の方法：選挙と司法審査	人権保障について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	自由権 (1) 包括的自由権、精神的自由権	包括的自由権と精神的自由権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	自由権 (2) 精神的自由権、人身の自由	精神的自由権と人身の自由について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	自由権 (3) 経済的自由権、平等権	経済的自由権と平等権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	社会権、義務	社会権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	平和主義	平和主義について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
日本国憲法の全文 (講談社学術文庫版などを推奨する)、『憲法判例集』(有斐閣新書)、そして毎回配付する自作プリントによる。ほか教室でそのつど指示する。			
成績評価方法・基準			
webclass 上で行う毎回の小テストの累計 (40 点) と、期末試験 (60 点) による。積極的な授業参加を評価し、加点する場合がある。			

10	技術と倫理 EGE-CCS-519	必修 2単位 3年前期 (C) 選択 2単位 3年前期 (E・T・A・K)	
	Technology and Ethics		
全学科 3年全組 非常勤講師 野家 伸也			
授業の達成目標		授業形態	
人類の福祉の実現に真に役立つべく、倫理観をもって工学を応用でき、国際社会に通用する技術者の基本的資質を身につける。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
工学的解決法の社会および地球環境に及ぼす効果、価値に関する理解や責任など、工学に関わる者として社会に対する責任を自覚する能力を身につける。工学の究極目的が人類の福祉の実現であること、また工学技術者の倫理観の欠如が、福祉とは逆に、社会および地球環境にとって大きな問題を生ぜしめている現状を理解する。ついで工学に関わる具体的な事例における倫理的な価値判断の方法を学ぶ。		教職科目 (工業)	
		○ 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	工学の目的	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (工学の目的) などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	倫理問題の本質	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (倫理問題の本質) などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	倫理的判断の方法	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (倫理的判断の方法) などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	工学技術者の責任	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (工学技術者の責任) などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	プロフェッショナルとしての工学技術者	関連するキーワードについて調べる。配付資料 (プロフェッショナルとしての工学技術者) などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	プロフェッショナルの倫理規範	関連するキーワードについて調べる (予習)。資料 (プロフェッショナルの倫理規範) などを確認 (復習)。	4
第7回	工学の各分野の倫理綱領	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (工学の各分野の倫理綱領) などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	社会に対する責任	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (社会に対する責任) などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	地球環境に対する責任	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (地球環境に対する責任) などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	未来世代への責任	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (未来世代への責任) などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	雇用主に対する権利と義務	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (雇用主に対する権利と義務) などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	研究者としての責任と義務	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (研究者としての責任と義務) などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	高度情報化社会におけるプライバシー	関連するキーワードについて調べる (予習)。資料 (高度情報化社会におけるプライバシー) などを確認 (復習)。	4
第14回	まとめと試験	第1 - 13回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
教科書・参考書等			
教科書は指定しない。参考書は適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
授業中に提出するレポート、試験を総合して評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

11	現代思想と科学 EGE-CCS-620		選択 2単位 3年後期
	Modern Thought and Science		
全学科3年全組 非常勤講師 野家 伸也			
授業の達成目標			授業形態
文化現象についての見方としての実証主義と反実証主義の違い、および反実証主義における「構造的思考」の特徴について理解し、説明できるようになること。			○ 単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一括に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要			該当科目
人文科学の立場から文化現象を理解するための方法論としての「構造分析」について学び、「構造的思考」によって文化現象の諸相を分析し、その本質を探究する。			教職科目 (工業)
			教職科目 (情報)
			地域志向科目
実務経験を活かした教育について			実務経験のある教員担当
			アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	序論	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (序論) などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	自然と文化1 - 実証主義と反実証主義	関連するキーワードについて調べる (予習)。資料 (自然と文化1 - 実証主義と反実証主義) を確認 (復習)。	4
第3回	自然と文化2 - マルクス	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (自然と文化2 - マルクス) などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	自然と文化3 - フロイト	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (自然と文化3 - フロイト) などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	言語の構造 - ソシュール	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (言語の構造 - ソシュール) などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	文化の構造 - 構造主義運動	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (文化の構造 - 構造主義運動) などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	神話の構造 - レヴィ = ストロース	関連するキーワードについて調べる (予習)。資料 (神話の構造 - レヴィ = ストロース) などを確認して講義内容を復習する	4
第8回	社会の構造 - レヴィ = ストロース	関連するキーワードについて調べる (予習)。配付資料 (社会の構造 - レヴィ = ストロース) などを確認 (復習)。	4
第9回	意識の構造 - ゲシュタルト心理学	関連するキーワードについて調べて予習する。資料 (意識の構造 - ゲシュタルト心理学) などを確認して講義内容を復習する	4
第10回	行動の構造 - メルロ = ポンティ	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (行動の構造 - メルロ = ポンティ) などを確認して講義内容を復習	4
第11回	精神と身体1 - 幻影肢	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (精神と身体1 - 幻影肢) などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	精神と身体2 - 精神盲	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (精神と身体2 - 精神盲) などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	言語と思考 - 失語症	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (言語と思考 - 失語症) などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	まとめと試験	第1 - 13回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
教科書・参考書等			
教科書は使用しない。参考書は教室で指示する。			
成績評価方法・基準			
試験およびレポートを総合して評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

12	日本の近代思想 EGE-CCS-721	選択 2単位 4年前期	
	Modern ideas of Japan		
全学科 4年全組 非常勤講師 佐々木隼相			
授業の達成目標		授業形態	
近代（明治維新～現在）の日本における価値観の変化について考える。国内に昔から形成されていた伝統思想と、海外から移入されてきた外来思想の関わりを理解することを目標とする。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一括に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
日本の近代思想は、国内の伝統的な思想と海外からの新しい思想が対抗し対応しあう関係として理解できる。この関係を、哲学者や思想家の著作だけでなく、小説や映画、マンガや音楽も紹介しながら理解していく。		教職科目（工業）	
		教職科目（情報）	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	視点と方法	予習としてシラバスを通読の上、準備学習を行う。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第2回	日本	「日本」とは何を指すのかについて予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第3回	文明と文化	プリントを読んで「文明」と「文化」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第4回	時間と空間	プリントを読んで近代における「時間・空間」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第5回	民族	日本の中の「民族」のあり様について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第6回	道徳	プリントを読んで「道徳」をめぐる議論を予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第7回	宗教	翻訳語としての「宗教」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第8回	科学	プリントを読んで近代的な「科学」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第9回	身体・ジェンダー	プリントを読んで「身体・ジェンダー」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第10回	社会	日本における「社会」のあり様を予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第11回	民衆	「民衆」とは何を指すのかについて予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第12回	自然	日本における様々な「自然」観について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第13回	東北	プリントを読んで近代における「東北」について予習する。配付資料や授業中にとったノートを整理しながら内容を復習する。	4
第14回	まとめ	配付資料や授業中にとったノートを整理しながらこれまでの内容を復習する。	4
教科書・参考書等			
教科書は使用しない。毎回プリントを配付する。参考書は適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
第1回レポート（50%）、第2回レポート（50%）の2回のレポートで評価する。レポート課題については、LMS上でフィードバックする。			

13	現代の倫理 EGE-CCS-722	選択 2単位 4年前期	
	Modern Ethics		
全学科 4年全組 非常勤講師 野家 伸也			
授業の達成目標		授業形態	
倫理学の基礎をなす基本的な諸概念（幸福、義務、功利など）の意味を理解し、説明できるようになること。具体的な場面における倫理的な価値判断の根拠を示せるようになること。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
倫理学の基礎をなす基本的な諸概念、主要な倫理学説の概要、および現代の倫理的課題を学び、社会における人間のあり方、人間の本質や道徳の意義について問う姿勢を養う。		教職科目（工業）	
		教職科目（情報）	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	倫理学の基本概念1－「倫理」について	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（「倫理」について）などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	倫理学の基本概念2－「人間」について	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（「人間」について）などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	功利主義の倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（功利主義の倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	カントの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（カントの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	リベラリズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（リベラリズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	リバタリアニズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（リバタリアニズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	コミュニタリアニズムの倫理学	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（コミュニタリアニズムの倫理学）などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	生命の倫理学1－生命の質	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（生命の倫理学1－生命の質）などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	生命の倫理学2－自己決定権	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（生命の倫理学2－自己決定権）などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	環境の倫理学1－自然の生存権	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（環境の倫理学1－自然の生存権）などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	環境の倫理学2－世代間倫理	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（環境の倫理学2－世代間倫理）などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	技術の倫理学1－公共性	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（公共性）などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	技術の倫理学2－社会と技術	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料（社会と技術）などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	まとめと試験	第1－13回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
教科書・参考書等			
教科書は指定しない。参考書は適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
授業中に提出するレポート、試験を総合して評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

14	現代の哲学 EGE-CCS-823	選択 2単位 4年後期	
Modern Philosophy			
全学科 4年全組 非常勤講師 野家 伸也			
授業の達成目標	国家論・市民社会論を中心テーマとして西洋近代思想史の流れを辿り、現代社会の理解に役立てる。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	17世紀から19世紀にかけての市民革命をめぐる言説を学ぶことで「国家とは何か」「社会とは何か」について問う姿勢を養う。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	市民革命の時代	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (市民革命の時代) などを確認して講義内容を復習する。	4
第2回	ピューリタン革命と名誉革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ピューリタン革命と名誉革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第3回	啓蒙主義の国家観・社会観 (1) - ロック	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ロック) などを確認して講義内容を復習する。	4
第4回	啓蒙主義の国家観・社会観 (2) - ロックと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ロックと市民革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第5回	フランス革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (フランス革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第6回	啓蒙主義の国家観・社会観 (3) - ルソー	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ルソー) などを確認して講義内容を復習する。	4
第7回	啓蒙主義の国家観・社会観 (4) - ルソーと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ルソーと市民革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第8回	ロマン主義の国家観・社会観 (1) - バーク	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (バーク) などを確認して講義内容を復習する。	4
第9回	ロマン主義の国家観・社会観 (2) - バークと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (バークと市民革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第10回	ナポレオン戦争	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ナポレオン戦争) などを確認して講義内容を復習する。	4
第11回	ヘーゲルの国家観・社会観 (1) - ヘーゲル	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ヘーゲル) などを確認して講義内容を復習する。	4
第12回	ヘーゲルの国家観・社会観 (2) - ヘーゲルと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (ヘーゲルと市民革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第13回	マルクスの国家観・社会観 - マルクスと市民革命	関連するキーワードについて調べて予習する。配付資料 (マルクスと市民革命) などを確認して講義内容を復習する。	4
第14回	まとめと試験	第1 - 13回の内容を復習し試験に備える。試験を復習する。	4
教科書・参考書等			
教科書は使用しない。参考書は適宜紹介する。			
成績評価方法・基準			
試験およびレポートを総合して評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

15	地域防災減災論 EGE-CCS-124	選択 2単位 1年前期 ※「地域とテクノロジー」といずれか1科目選択必修	
Theory of Local Disaster Prevention and Mitigation			
全学科1年全組 COC 非常勤講師 2学科(建築学科、都市マネジメント学科) 教員			
授業の達成目標	授業形態		
わが国では、地震・津波をはじめ、火災や風害、地すべり、水害など多くの災害が発生している。建築・都市で発生した様々な災害について理解するとともに、各人が防災・減災意識を高め、自身と地域の安全を確保するために行動できるようにすることを目標とする。 ※A・C推奨科目	単独 (1人が全回担当)		
	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	○	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
	クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
防災・減災では、公助・共助・自助のバランスが重要である。公助(国や地方自治体が主導する取組み)、共助(地域社会やボランティアを中核とする取組み)、自助(個人や家族を中心とした取組み)について、特に東日本大震災等の事例を通して解説するとともに、仙台・宮城地域を中心とする教訓や防災対策の課題、更には復興に向けた取り組みについて企業人や行政機関などの外部講師も講義を担当する。	教職科目(工業)		
	教職科目(情報)		
	○	地域志向科目	
	○	実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について	アクティブラーニング		
当該講座は、各回ごとに企業や産業界の代表者ならびに実務担当者を講師として招き、それぞれの事業の視点から地域の持つ課題や取り組みの現状について講義する。	アクティブラーニング		
授業計画(各回の学習内容等)			
	学習内容(授業方法)	学習課題(予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	地域防災減災のキーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第2回	地域環境保全に対する大学の役割	地域環境保全のキーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第3回	火災時の心理と避難行動	火災時の心理と避難行動のキーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第4回	東日本大震災と地域防災	東日本大震災と地域防災のキーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第5回	地域防災減災の行政的課題	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第6回	東日本大震災からの復興	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第7回	地域における防災活動の取り組み	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第8回	住民主体の震災復興	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第9回	2011年東北地方太平洋沖地震とその災害形態の特徴	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第10回	震災発生直後の復旧、そして復興における建設業の役割(1)	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第11回	震災発生直後の復旧、そして復興における建設業の役割(2)	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第12回	震災における鉄道関連インフラの復興へ道のり(1)	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第13回	震災における鉄道関連インフラの復興へ道のり(2)	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第14回	エピローグ	関連キーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
第15回	まとめと試験	講義全体に関するキーワードについて調べ予習する。ノートを整理・復習する。	4
教科書・参考書等			
特に使用しない。多分野にわたる講義から要点を聞き取り、自ら考えることに主眼をおく。			
成績評価方法・基準			
レポートおよび試験により総合的に評価する。			

16	地域とテクノロジー EGE-CCS-125	選択 2単位 1年前期 ※「地域防災減災論」といずれか1科目選択必修	
	Region and Technology		
全学科1年全組 COC 非常勤講師 3学科(電気電子工学科、情報通信工学科、環境エネルギー学科) 教員			
授業の達成目標		授業形態	
電気電子工学や情報通信工学、環境エネルギー技術などに関わる企業の実態を把握し、これらのテクノロジーを仙台・宮城の地域づくりに活用できる知見を得ることを目指す。 ※E・T・K推奨科目		<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
地域づくりとは、人々が生活する空間の諸問題に対する課題解決のアプローチと言える。つまり、住民と行政や専門家と協働してすすめる創造的な活動である。さらには、地域に埋もれた資源の価値を見いだすことでもある。この講義では、電気電子工学や情報通信工学、環境エネルギー技術などのテクノロジーと実際に現場で活躍する企業人なども講義を担当し地域企業の関わりを学び、テクノロジーを仙台・宮城の地域づくりに役立てる方法について熟考する機会を与える。また、地域企業の実態を理解した上で、グローバル企業と地域づくりの関係についても学ぶ。		<input type="checkbox"/> 教職科目(工業) <input type="checkbox"/> 教職科目(情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
当該講座は、各回ごとに企業や産業界の代表者ならびに実務担当者を講師として招き、それぞれの事業の視点から地域の持つ課題や取り組みの現状について講義する。			
授業計画(各回の学習内容等)			
	学習内容(授業方法)	学習課題(予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス・大学と地域の共創による地域づくり	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第2回	地域社会と情報化の推進	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第3回	宮城県の中小企業	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第4回	最新テクノロジーによる地域資源の高付加価値化	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第5回	地域と電気電子工学	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第6回	地域中小企業の現状と展望(1)	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第7回	地域中小企業の現状と展望(2)	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第8回	地域中小企業の現状と展望(3)	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第9回	地域と情報通信工学	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第10回	技術から見た地域中小企業のまとめと中間試験	返却されたレポートを見直し、論旨を構築しておく。記述した小論文を思い出し、ノートにまとめる。	4
第11回	スマートライフの実現に向けた取り組み	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第12回	宮城の自動車産業と自動車技術動向	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第13回	バイオ燃料の課題と展望	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第14回	地域と環境エネルギー	関連するキーワードについて、Web等で調べておく。提出したレポートの内容を思い出し、ノートにまとめる。	4
第15回	まとめと試験	返却されたすべてのレポートを見直し、論旨を構築しておく。記述した小論文を思い出し、ノートにまとめる。	4
教科書・参考書等			
特に使用しない。多分野にわたる講義から要点を聞き取り、自ら考えることに主眼をおく。			
成績評価方法・基準			
レポートおよび試験により総合的に評価する。			

17	ライフ・キャリアデザイン論 I	AGE-CCS-326	選択 2単位 2年前期
	Life carrier design theory I		
全学科 2年全組 非常勤講師 阿部登志子			
授業の達成目標		授業形態	
自分らしく生きるために、自分の夢や目標（将来の働き方、生き方）を具体的にデザイン（考えて、まとめることが）できるようになる。その実現のために Plan Do Check Action のサイクルを回せるようになる。キャリアプランを立案するための様々な知識やノウハウの学び方を学ぶ。将来の職業生活と今の大学生活を連動させて考える事ができるようになる。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
今から自分の人生を描いてみることは、未来から自分を見つめることなので学生時代にやるべき事、やりたい事が見えてくる。学生時代の充実はその進路決める礎になり、社会に出てからのキャリアに反映してくる。そこで本講義では、キャリアデザインとは何か？なぜキャリアデザインが必要なのか？について考えていく。そのための必要な知識とスキルを学ぶことが本講義の重点事項である。		<input type="checkbox"/> 教職科目（工業） <input type="checkbox"/> 教職科目（情報） <input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
担当講師は、キャリアコンサルタントとして大学生のキャリア形成、組織の人材育成や在職者のキャリア形成等の支援経験を活かし、多様で目まぐるしい現代において自身のキャリアを期待とともに考え、具体的なキャリアデザインの思考力の習得を促す。		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	キャリアとキャリアデザイン	キャリアデザインとは何か？なぜキャリアデザインが必要なのか？学生にとってのキャリアデザインの意義とは？本講義の目的と概要、進め方、約束。	4
第2回	自己実現に向けて 自分にとってのよい仕事、よい職場の基準を明確にする業界、職種、企業のやりがいについて知る	自分にとってのよい仕事、よい職場の基準を明確にする業界、職種、企業のやりがいについて知る有名企業と中小企業のメリットデメリットを考える。	4
第3回	これからの大学生活のキャリアを考えるマインドマップによる自分の探索	好きな事、ワクワクする事、大学生活でやってみたいこと、現時点での将来の夢や目標をブレインストーミングして創り上げる	4
第4回	自分探索	自己分析シートを使い、過去の経験の振り返ることで、自分のワクワクとパワーの源を探すとともに、自分の軸を探してみる	4
第5回	自分のコミュニケーションスタイルを知る	エゴグラムにて自分のコミュニケーションの癖を知り、長所を伸ばし損をしている部分を修正する『行動化』を実践する	4
第6回	いきいきと自分らしく生きていくための能力を身につける	前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力の3つの力の分析し、3つの力のどれをどのように成長させるか、Plan Do Check Action をまとめる	4
第7回	経済環境と雇用環境	激変する社会と経済環境と現代人のライフサイクルについて学ぶとともに、正社員神話の崩壊、多様化するキャリアスタイルを知る	4
第8回	生涯発達とキャリア	生涯発達するという視点で現代人の人生を俯瞰する	4
第9回	キャリア設計のための収支	生涯収入と生涯支出、働き方と家族構成で差がつく	4
第10回	現代日本のキャリアパターンを考える 現代女性のライフサイクル	現代日本の大学卒のキャリアパターンを概観し、現代日本の各年代、男女のキャリア危機とその克服。	4
第11回	社会で実践されるビジネス思考を学ぶ	問題発見する視点と問題解決技法を学び、論理的思考のフレームワークの構築。	4
第12回	情報の適切な扱い方	情報にだまされない分析と視角を養い、学生生活の情報収集にテーマを持つ。	4
第13回	業界企業研究のスキル	業界、企業をつながりで見つめるながら、企業の成長と終わりを事例研究で学ぶ。	4
第14回	仕事を知る やりがいや成長という視点	有名企業より優良企業、企業の魅力とはどこからがブラック？入社するならどちらを選ぶ－2社を対比する	4
第15回	今まで学んだことを使って、大学生活の目標と行動計画を作成する	『人生の夢や目標についてキャリアデザインを描いてみる』	4
教科書・参考書等			
テキストは使用せず、授業時にプリントを配付する。			
成績評価方法・基準			
出席管理を兼ねた振り返りシート (48%)、課題提出 (30%)、講座最終回で作成し提出する将来設計図 (22%)。			

18	ライフ・キャリアデザイン論Ⅱ	FGE-CCS-521	選択 2単位 3年前期
	Life carrier design theory II		
全学科2年全組 非常勤講師 手戸 和喜			
授業の達成目標		授業形態	
<p>キャリアデザイン論Ⅰで学んだ内容をさらに発展させる。具体的には、自分の夢や目標をより具体的にデザインできるようになり、社会で自立して生きる覚悟を持つ。</p> <p>将来について真剣に自分事として考え、『自分の将来を思い描き、自分で選び決める』力を習得する。大学生活での学びと経験、専門科目を今後の社会人生活に関連付けさせる。そのために、目まぐるしく複層的に変化する社会において求められる人物像を想像することで、自らが身に着けるべき力を知り、様々な事象を検証しながら、短期視点だけではなく中長期の視点を身に付け、自ら選択し決断できる思考と行動力を醸成する。</p>		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
<p>何故キャリアをデザインする必要があるのか？キャリアデザイン論Ⅰで学んだことをさらに発展させる。学生時代も就職してからも、将来の働き方、生き方を自分でデザインすることは重要である。場合によっては修正し、再設計、再設計していくことが必要になってくる。そのために実践的な形式とコミュニケーションを重視し進行する。個人、グループ、全体でワークを展開し、自分の考えや夢と向き合い明確にしていく。社会の現実に向け、社会人へ移行するための視点や考えを養う。そのため、多様な観点の問いに対し自分なりの考えを持ち、他者の意見に耳を傾け言語化していく。就職活動に役立つノウハウやスキルも学びながら、自分に存在する強みや資源をどう活かすかを考察し、連続する社会人生活に必要な考察する力と表現する力の重要性を共に考えていく。</p>		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当 <input type="radio"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について		<p>キャリアコンサルタントとして大学生のキャリア形成、組織の人材育成や在職者のキャリア形成等の支援経験を活かし、多様で目まぐるしい現代において自身のキャリアに期待を持ち具体的なキャリアデザインの思考力の習得を促す。</p>	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス 人生100年時代を生きる	予習：社会と自分のキャリアについて考えておく 復習：自分のキャリアをどう構築していくか考える	4
第2回	非正規雇用者の働き方から労働環境を考える	予習：雇用形態について調べてみる 復習：授業を振り返る	4
第3回	過労死ニュースから労働環境を考える	予習：過労死について調べてみる 復習：授業を振り返る	4
第4回	ライフステージの変化に備える 早期離職問題から考える	予習：学生生活と社会人生活の違いを考えてみる 復習：授業を振り返る	4
第5回	グループディスカッション (第1～4回について)	予習：これまでの授業を振り返る 復習：自分のコミュニケーションを振り返る	4
第6回	「社会人基礎力」から社会に求められる人材像を考える	予習：社会で活躍する自分を想像してみる 復習：授業を振り返る	4
第7回	「採用担当者の視点」から社会に求められる人材像を考える	予習：他者から評価される自分を考える 復習：授業を振り返る	4
第8回	自分の軸と社会の動向から職業を考える	予習：自分自身の選択基準を考えてみる 復習：授業を振り返る	4
第9回	グループディスカッション (第6～8回について)	予習：これまでの授業を振り返る 復習：自分のコミュニケーションを振り返る	4
第10回	エントリーシートを知る・書く	予習：これまでの自分の経験を振り返る 復習：授業を振り返る	4
第11回	自分にとっての「幸せな働き方」を考える	予習：自分にとっての「幸せ」を考えてみる 復習：授業を振り返る	4
第12回	ミッションからキャリアデザインを考える	予習：自分の役割と人生を考えてみる 復習：今できることを考えて行動してみる	4
第13回	グループディスカッション (第10～12回について)	予習：これまでの授業を振り返る 復習：自分のコミュニケーションを振り返る	4
第14回	表現する プレゼンテーション	予習：自分自身を客観的に見てみる 復習：授業を振り返る	4
教科書・参考書等			
テキストは使用せず、講義時にプリントを配付する。			
成績評価方法・基準			
<p>①毎講義後提出の小テスト・小レポート (50%) ②第5回・第9回・第13回後提出のレポート (50%) (フィードバックは次回授業時、全体にフィードバックを行う) 以上①②を総合的に評価し、合わせて60%以上に達した者に単位を認定する。</p>			

19	職業指導（工業） EGE-CCS-528	選択 2単位 3年前期・集中 ※「工業」の免許状取得希望者のみ必修	
	Vocational Guidance		
全学科3年全組 教授 小川 和久 准教授 中島 夏子			
授業の達成目標		授業形態	
工業社会で働くことになる生徒の指導にあたり、教師はまず適正な職業観をもつことが求められる。また教師は、生徒がモノ作りなどの生産の仕事に個人の成長と幸福感を得ることができるように、自己発見や自己理解が重要なことも指導する必要がある。その上で、現代の工業社会で課題となる職業選択、職業適性、能力開発等について基礎を学習し、生徒の主体的な問題発見と問題解決能力を育成するための教育の方法を習得するものとする。		<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏めに担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。現代社会の工業技術の変化は日進月歩で著しいものがあり、創造的な能力と適性が以前よりも増して強く求められている。一方で、旧き技術を大切にしながら、新たな工業技術の創造に努める工業社会の歴史と適性の概念の変遷を学ぶことも重要であり、職業観の形成、職業技能の習得過程、職業適性の諸理論の理解を通して、モノ作りを支える人たちのキャリア形成の問題に触れる。さらに、工業高校でのキャリア教育の授業計画作成をグループワークで行うことを通して、教育実践の具体例を学んでいく。		<input type="checkbox"/> 教職科目（工業） <input type="checkbox"/> 教職科目（情報） <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	工業科における職業指導とは何か（中島）	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	なぜ人は働くのか（小川）	「勤労観・職業観」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	キャリア教育実践① 自己分析と適性（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	キャリア教育実践② キャリアプラン（中島）	「キャリアプランと自己分析」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	キャリア教育実践③ 工業科における実践例（中島）	「キャリア教育の実践」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	職業選択と適性① 職業興味検査（小川）	「職業興味」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	職業選択と適性② 適性の概念（小川）	「職業適性」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	キャリア発達諸理論（小川）	「キャリア発達」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	職業技能① 職業技能の習得過程（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	職業技能② 技能学習の訓練方法とその理論（小川）	「職業技能」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	キャリア教育の授業設計① 目的・目標（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	キャリア教育の授業設計② 方法（中島）	「キャリア教育の授業設計」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成① グループ協議と作成（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	工業科におけるキャリア教育の指導案作成② 報告会（小川）	「キャリア教育の指導案」について調べて予習する。ノート・配付資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
テキスト 自作資料 参考書・参考資料等 適宜提示			
成績評価方法・基準			
グループ協議とその発表内容（20%）、複数回提出を求めるレポートの内容（80%）にもとづき総合的に評価する。発表内容およびレポート内容については、授業中にフィードバックする。			

20	情報社会とモラル EGE-CCS-629	選択 2単位 3年後期 ※「情報」の免許状取得希望者のみ必修	
	Ethical and Legal Issues of the Information Society 全学科3年全組 教授 片山 文雄		
授業の達成目標		授業形態	
情報社会における法的ないし道徳的諸問題について具体的に学び、問題解決の方向性について、自ら考慮し判断する力を養う。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
本講義は高校教員免許状の取得をめざし、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。情報社会において深刻化している法的ないし道徳的問題をどう解決すべきかについては、なお模索が続いている。本講義では、情報社会についての社会科学的概観を踏まえて、主にプライバシーと知的財産権という二つの重要トピックを、倫理的・法的見地から講義する。また受講者による発表や討議を行い、双方向的な学習を目指す。		教職科目 (工業)	
		○ 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	序 情報	予習としてシラバスを読んで授業概要を理解してくる。配付資料などを確認して復習する。	4
第2回	情報社会 (1) 経済の観点から	経済と情報について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第3回	情報社会 (2) 政治の観点から	政治と情報について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第4回	情報社会 (3) 個人の観点から	我々にとっての情報について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第5回	プライバシー権	プライバシー権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第6回	プライバシー権 (平穏生活権) の判例	プライバシー権の法的性格について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第7回	プライバシー権 (自己情報コントロール権) の判例	プライバシー権の判例について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第8回	個人情報保護法制	個人情報保護法制について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第9回	知的財産権	知的財産権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第10回	著作権	著作権について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第11回	著作権の主体	著作権の主体について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第12回	著作権の保護	著作権の保護について調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第13回	著作権をめぐる問題 (1) 保護意識の高まり	著作権保護意識の高まりについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
第14回	著作権をめぐる問題 (2) 最近のトピックス	著作権をめぐる最近のトピックスについて調べて予習する。配付資料などを確認して復習する。	4
教科書・参考書等			
自作プリントによる。ほか教室で指示する。			
成績評価方法・基準			
webclass 上で行う小テストまたは小レポートの累計 (40 点) と、期末試験 (60 点) による。積極的な授業参加を評価し、加点する場合がある。			

21	情報と職業 EGE-CCS-630	選択 2単位 3年後期 ※「情報」の免許状取得希望者のみ必修	
	Information Technology and Occupations		
全学科 3年全組 非常勤講師 佐藤 亨			
授業の達成目標		授業形態	
1. 情報社会における企業環境の変遷及び変化について理解する。 2. 企業のIT (Information Technology) 化における現状と課題について理解する。 3. 「職業人としての在り方・生き方」を考察し、職業について理解を深める。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。情報社会における産業・就業構造、さらにビジネス・労働環境等の変遷及び変化について学習し、倫理観、職業観、就労観について考察する。そして、「職業人としての生き方・在り方」を考えることができる講義内容とする。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="radio"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
担当教員は、高等学校教員としての経験と実績を生かし、学校教育の現場で教えられている内容を踏まえて、社会の変化に対応した生きた知識を教授する。		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	学習内容についてのガイダンス	シラバスで学習内容を確認し、情報と職業について予習してくる。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第2回	情報社会と職業	情報社会における職業について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第3回	社会基盤としての情報化 ① 情報化と高度情報通信社会	社会基盤としての情報化における高度情報通信社会について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第4回	社会基盤としての情報化 ② 家庭・学校・公共施設等の情報化	社会基盤としての情報化における家庭・学校・公共施設等について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第5回	情報社会と企業・産業構造の変化 ① 産業構造の転換と就業構造の推移	産業構造の転換と就業構造の推移について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第6回	情報社会と企業・産業構造の変化 ② 流通情報及び金融ネットワークシステム	流通情報及び金融ネットワークシステムについて調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第7回	情報社会とビジネス	情報社会におけるビジネスについて調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第8回	情報化におけるビジネス環境の変化 ① 販売(小売業)における情報活用	販売(小売業)における情報活用について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第9回	情報化におけるビジネス環境の変化 ② 戦略的な情報活用	戦略的な情報活用について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第10回	企業における情報活用 ① 製造業における情報システム	製造業における情報システムについて調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第11回	企業における情報活用 ② 経営情報を管理するためのコンピュータの活用	経営情報を管理するためのコンピュータの活用について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第12回	働く環境の変化	働く環境の変化について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第13回	労働観の変化	労働観の変化について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
第14回	情報社会における犯罪と法制度 情報と職業のまとめ	情報社会における犯罪と法制度について調べて予習する。配付資料を確認するとともに、受講内容についての質問や意見、感想等をまとめる形で復習する。	4
教科書・参考書等			
自作教材 <参考書等> : 「情報と職業」 : 丸善 (株)、「情報と職業」 オーム社、「最新情報産業と社会」 : 実教出版 (株)			
成績評価方法・基準			
レポート提出、課題等によるグループワーク及び発表等により評価する。 レポート2回 (60%)、グループワーク及び発表 (40%)。			

22	地球環境とエコロジー EGE-NT-101	必修 2単位 1年後期 (K)	選択 2単位 1年後期 (E・T・A・C)
	Global Environment and Ecology		
全学科 1年全組 准教授 佐野 哲也			
授業の達成目標		授業形態	
熱帯から極地まで、地球上にみられる具体的な生態系の特徴と成因を気候と関連づけて理解する。また、地球温暖化、酸性雨、生物多様性など身近な環境問題の成因を理解し、自然や生物と私たち人間とのかかわりを考える。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けて担当する)	
授業の概要		該当科目	
環境問題を考えるとき、地球環境の変化に対応しながら進化の過程で獲得されてきた生物と環境および生物間の相互関係に関する理解が欠かせない。本講では、これまでつちかわれてきた生態学の基礎的概念を学ぶとともに、熱帯から極地まで地球上に見られる具体的な生態系における特徴を眺め、自然や生物と私たち人間とのかかわりを考えていく。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス・生態学 (エコロジー) について	予習として「エコロジー」という言葉の使用例を探し、どのような意味で使用されているか考えてみる。本来の「エコロジー」の意味について復習する。	4
第2回	植物の生活形とパイオームの区分	予習として世界のパイオームについて調べてみる。復習として、公園や街路を歩きながら、草本・木本、常緑樹・落葉樹、針葉樹・広葉樹など生活形の違う植物を確認してみる。	4
第3回	世界の気候① ー気温・大気循環ー	予習としてなぜ熱帯は熱く、北極や南極は寒いのか? 当たり前といわずその理由を科学的に考えてみる。コリオリの力について復習し日々の天気の変り変わりや風向きなどの成因を説明できるようにする。	4
第4回	世界の気候② ー海洋循環・降水量ー	予習として、世界の海流や降水量の分布を概観してみる。世界の海流や降水量の分布が、前回学習した気温や大気循環と関係していることを復習する。	4
第5回	パイオームの種類と分布① ー森林ー	予習として、世界の森林生態系のタイプを概観する。復習として熱帯多雨林、熱帯季節林、照葉樹林、夏緑樹林、針葉樹林など地球上に存在する各森林生態系の特徴をまとめ、その分布を気候と対応づけて説明できるようにする。	4
第6回	パイオームの種類と分布② ー植生の水平分布と垂直分布ー	予習として、出身地のほか沖縄、九州、北海道などの主要都市の気温に関するデータを集め、雨量指数を計算してみる。森林生態系の分布と雨量指数の関係について復習する。	4
第7回	パイオームの種類と分布③ ー草原と荒原ー	予習として、砂漠など降水量の少ない環境が地球上のどの辺りに分布しているのか調べてみる。乾燥気候の発生メカニズムを復習する。	4
第8回	光合成のしくみ	予習として、これまで習ってきた光合成の仕組みを復習しておく。乾燥に強く屋上緑化などで多用されセダムなど多肉 (CAM) 植物を街で探し、その光合成の仕組みを一般植物のものと比較しながら復習する。	4
第9回	生態系の物質生産とエネルギーの流れ	予習として、地球上のパイオーム量の分布を概観しておく。パイオーム量の分布をパイオームの種類や気候と関連付けて説明できるように復習する。	4
第10回	植生の遷移① ー一次遷移ー	予習として、植生遷移について調べる。一次遷移の各段階における優占植物やその特性を復習する。	4
第11回	植生の遷移② ー二次遷移ー	予習として、伐採された雑木林の遷移について調べる。マツ枯れやナラ枯れなど二次遷移の進行に影響する身近な現象について発生メカニズムを説明できるように復習する。	4
第12回	生態系のバランスと保全① ー生物多様性とその保全ー	予習として、レッドデータブックや外来種について調べる。復習として「生物多様性」という語の定義や使用例についてまとめる。	4
第13回	生態系のバランスと保全② ー地球温暖化と酸性雨ー	地球温暖化・酸性雨問題の原因を予習する。復習として、地球温暖化と酸性雨という環境問題について原因物質や発生メカニズムについて説明できるようにする。	4
第14回	生態系のバランスと保全③ ー河川・湖沼・海洋生態系の保全ー	予習として、河川、湖沼、干潟、海洋など水生生態系で起こっている環境問題について事例をあげてみる。水質汚染や富栄養化問題について復習する。	4
第15回	生態系のバランスと保全④ ー生態系サービスー	予習として、生態系サービスに関する記事・書籍を読み、レポートにまとめる。講義内容を復習し、レポートにまとめた内容で不足している部分を補う。	4
教科書・参考書等			
参考書：フォトサイエンス視覚でとらえる生物図録 適宜プリントを配付する。			
成績評価方法・基準			
15回の講義の中で数回行う時間15分ほどの達成度確認テストの結果とレポート課題の内容をふまえて成績を評価する。			

23	科学論文読解 EGE-NT-201	選択 2単位 2年後期	
Reading comprehension of scientific articles			
全学科 2年全組 非常勤講師 梅田健太郎 野家 伸也			
授業の達成目標	1. 理数系の文献を正確に読み解く力を身につける。 2. 文献から得た知識を使って自分の考えを発展させる能力をつける。		
	授業形態		
	<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当)		
	<input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	<input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	<input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	文章を読んで新しい知識を得ることは、学習や研究を進めるためのもっとも大切な行為である。この授業では与えられた理数系の文献を各自で読み、内容に関する課題に取り組む。課題の解決には個人またはグループで能動的に取り組む、成果を公表する。 授業前に文献をていねいに読んでから出席すること。その後、教員による解説を聞いて読んだ内容をどの程度正確に把握できていたかを確認する。授業で読む文献は、科学の最前線に関するものや歴史に残る名著の中から担当教員が厳選したものをを用いる。科学の魅力を感じながら読解力の向上をめざす。		
	該当科目		
	<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業)		
	<input type="checkbox"/> 教職科目 (情報)		
	<input type="checkbox"/> 地域志向科目		
実務経験を活かした教育について	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当		
	<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	【予習】関連するキーワードについて調べて予習する。授業で【復習】ガイダンス内容を復習する。	4
第2回	【物理学】物理学全般1：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第3回	【物理学】物理学全般1：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第4回	【物理学】現代物理学2：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第5回	【物理学】現代物理学2：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第6回	【物理学】現代物理学3：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第7回	【物理学】物理学全般3：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第8回	【物理学】：試験	【予習】プリント、解説総復習 【復習】テスト内容の確認	4
第9回	【研究倫理】全般 論文読解1：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第10回	【研究倫理】全般 論文読解1：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第11回	【研究倫理】理系 論文読解1：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第12回	【研究倫理】理系 論文読解1：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第13回	【研究倫理】文系 論文読解1：読解 (プリント提出)	【予習】配布プリント作成。 【復習】プリント内容の確認。関連事項について調べる	4
第14回	【研究倫理】文系 論文読解1：解説	【予習】関連事項の調査結果を文章化 【復習】解説内容の復習	4
第15回	【研究倫理】：試験	【予習】プリント、解説総復習 【復習】テスト内容の確認	4
教科書・参考書等	プリントを配付する。		
成績評価方法・基準	提出するプリント (全6回) と、担当教員ごとの試験で総合的に評価する。		

24	工業概論 AGE-NT-301	選択 2単位 3年前期 ※「工業」の免許状取得希望者のみ必修
Introduction to Industry		
全学科 3年全組 非常勤講師 萩野 元彦		
授業の達成目標	授業形態	
現代社会における工業の意義や役割を理解し、「どのようなものを、いかに作るか」を問い直す意識をもって、工業の各分野に関する基礎的な知識と技術・技能を修得することで、将来高等学校の工業教育にかかわる際に必要な資質を養うこと。それを通じて、工業高校の生徒に対して指導者として教育を行うために必要となる、工業教育への自信と力量を備えること。	<input type="radio"/>	単独 (1人が全回担当)
	<input type="radio"/>	複数 (1回の授業を2人以上が一組に担当)
	<input type="radio"/>	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
	<input type="radio"/>	クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要	該当科目	
本講義は、高等学校教員免許の取得を目指し、教職課程を履修している学生を対象とする講義である。高等学校において生徒に工業系科目の授業を提供するために必要となる、工業教育全体にかかわる機械、電気、情報、建築、化学の各分野のエッセンスを、演習や実習の要素を交えながら、問題演習に重点を置きつつ、幅広く講ずる。技術者としての倫理観や実践的な技術を修得させ、環境およびエネルギーに配慮しつつ、工業技術に関する諸問題を主体的・合理的に解決し、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を養う。	<input type="radio"/>	教職科目 (工業)
	<input type="radio"/>	教職科目 (情報)
	<input type="radio"/>	地域志向科目
	<input type="radio"/>	実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について	アクティブラーニング	
担当教員は、工業高校教員としての経験と実績を生かし、工業教育の現場で使われている生きた知識や指導法を教授する。	<input type="radio"/>	
授業計画 (各回の学習内容等)		
学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回 人と技術、工具の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、工具について復習する。	4
第2回 製図法と測定法の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、製図法と測定法について復習する。	4
第3回 材料の性質と加工法の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、材料の性質と加工法について復習する。	4
第4回 機械加工の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、機械加工について復習する。	4
第5回 機械工作の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、機械工作について復習する。	4
第6回 電気回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、電気回路について復習する。	4
第7回 論理回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、論理回路について復習する。	4
第8回 コンピュータ制御の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、コンピュータ制御について復習する。	4
第9回 制御回路の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、制御回路について復習する。	4
第10回 化学工業の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、化学工業について復習する。	4
第11回 部材と力の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、部材と力について復習する。	4
第12回 測定の基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、測定について復習する。	4
第13回 住宅の計画基礎	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、住宅計画について復習する。	4
第14回 デザインの基礎 まとめ	教科書の該当箇所を予習する。配付資料などを参考に、デザインについて復習する。	4
教科書・参考書等		
教科書「工業技術基礎」実教出版、山下省蔵ほか 東北工業大学教職課程センター教材プリント		
成績評価方法・基準		
レポートおよび試験により総合的に評価する。		

25	日本語表現 I AGE-LE-110	必修 1単位 1年前期	
Japanese Representation I			
E 1年全組 非常勤講師 河内 聡子 T 1年全組 非常勤講師 加藤 順一 A 1年全組 准 教 授 高橋秀太郎		C 1年1組 准 教 授 高橋秀太郎 C 1年2組 非常勤講師 加藤 順一 K 1年全組 准 教 授 高橋秀太郎	
授業の達成目標		授業形態	
大学在学中、並びに社会人となってから必要となる表現能力の基礎を身につけることを達成目標とする。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
本講義では以下の3点を中心に学ぶことで、「正しく分かりやすい」日本語表現をするために必要な力を身につけていく。 (1) 文章添削の方法 (2) 文章構成の方法 (3) 敬語		<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="checkbox"/> 教職科目 (情報)	
		<input type="checkbox"/> 地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当	
		<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス ノートテイキングの基本を学ぶ	【予習】 シラバス通読の上、準備学習を行う。 【復習】 ノートテイキングの基本を復習し、各講義で実践する。	1
第2回	「添削力を身につける」①「語句」の添削	【予習】 課題文の作成。 【復習】 配付プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第3回	「添削力を身につける」②「語句」・「文」の添削	【予習】 プリント課題。 【復習】 配付プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第4回	「添削力を身につける」③「文」の添削	【予習】 プリント・テキスト解題。 【復習】 配付プリント、テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第5回	「添削力を身につける」④「文」「文章」の添削	【予習】 テキスト課題 (漢字)。 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第6回	「文章構成力を身につける」I-①「分析と考察」の基本を学ぶ。表・グラフを作成する	【予習】 テキスト課題 (漢字)。 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第7回	「文章構成力を身につける」I-②説明文の書き方を学ぶ	【予習】 テキスト・プリント課題。 【復習】 プリントを使用して講義内容の復習を行う。	1
第8回	「文章構成力を身につける」I-③「分析と考察」の書き方を学ぶ	【予習】 テキスト課題 (四字熟語)。 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第9回	「文章構成力を身につける」I-④分析・考察テスト	【予習】 テキストを使用してテスト勉強を行う。 【復習】 テスト内容を振り返る。	1
第10回	添削課題返却と説明 「文章構成力を身につける」II-①「自己PR文」の基本を学ぶ	【予習】 テキスト課題スケジュール帳の見直し。 【復習】 返却課題の見直し、書き直し。	1
第11回	テスト返却と説明 「文章構成力を身につける」II-②「自己PR文」メモ作成	【予習】 テキスト課題 (慣用表現)。 【復習】 返却課題の見直し、書き直し。	1
第12回	「文章構成力を身につける」II-③「自己PR文」の作成、提出	【予習】 自己PR文下書き作成。 【復習】 ここまでの大学生活と将来の目標を比較し、今後のあり方を検討する。	1
第13回	課題返却と説明 「敬語を学ぶ」① 敬語の基礎を学ぶ	【予習】 テキスト課題 (ことわざ) 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第14回	「敬語を学ぶ」② 敬語の間違いを見つけ、直す練習をする	【予習】 テキスト課題 (故事成語)。 【復習】 テキストを使用して講義内容の復習を行う。	1
第15回	「敬語を学ぶ」③ 会話文をつくる 最終テストとまとめ	【予習】 テスト勉強。 【復習】 テキストを使用して講義内容、テストの復習を行う。	1
教科書・参考書等			
『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』風間書房			
成績評価方法・基準			
「提出課題 (2つ)」と「テスト (2回)」の4つにより評価する。(4つの課題はすべて25点満点) 課題については、返却時に全体に対しフィードバックを行う。			

26	日本語表現Ⅱ AGE-LE-211	必修 1単位 1年後期	
Japanese Representation II			
E 1年全組 非常勤講師 加藤 順一 T 1年1組 非常勤講師 笠間はるな T 1年2組 非常勤講師 加藤 順一	A 1年全組 准教授 高橋秀太郎 C 1年1組 非常勤講師 笠間はるな C 1年2組 非常勤講師 石川 清志	K 1年全組 非常勤講師 笠間はるな	
授業の達成目標		授業形態	
新聞レベルの文章を正確に読み取り、まとめる力を身につける。		○ 単独 <small>(1人が全回担当)</small>	
		複数 <small>(1回の授業を2人以上が一緒に担当)</small>	
		オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small>	
		クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要		該当科目	
本講義では、様々な分野について書かれた新聞記事を材料にして、語彙力、読解力、文章表現力（添削力）を高める。具体的には、以下の実践練習を行う。 (1) 新聞頻出語彙の意味確認 (2) 記事の読解練習 (3) 記事の要旨作成また、自身の大学生活を説明する文章や、就職活動で必ず必要となる「自己紹介書」を作成する。前期・後期を通して学んできた「正しく分かりやすい文章の書く力」がどこまで身についているかを確認する。		教職科目（工業）	
		教職科目（情報）	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス／課題文の説明・メモ作り	【予習】 シラバス通読。夏休み課題の整理。 【復習】 ガイダンス内容の再確認。	1
第2回	課題文の作成・提出	【予習】 課題文下書き作成。 【復習】 後期予定表の作成。	1
第3回	語彙力を身につける①外来語・漢語文章を読み、まとめる力を身につける①ガイダンス・「社会分野」	【予習】 テキスト課題（社会分野）。 【復習】 講義内容（社会分野）の復習。	1
第4回	語彙力を身につける②日本語・中国語文章を読み、まとめる力を身につける②「社会分野」	【予習】 テキスト課題（社会分野）。 【復習】 講義内容（社会分野）の復習。	1
第5回	文章を読み、まとめる力を身につける③「科学技術分野」	【予習】 テキスト課題（科学技術分野）。 【復習】 講義内容（科学技術分野）の復習。	1
第6回	文章を読み、まとめる力を身につける④「医療・生活分野」	【予習】 テキスト課題（医療・生活分野）。 【復習】 講義内容（医療・生活分野）の復習。	1
第7回	文章を読み、まとめる力を身につける⑤「文化分野」	【予習】 テキスト課題（文化分野）。 【復習】 講義内容（文化分野）の復習。	1
第8回	文章を読み、まとめる力を身につける⑥「天声人語」	【予習】 テキスト課題（天声人語）。 【復習】 講義内容（天声人語）の復習。	1
第9回	文章を読み、まとめる力を身につける⑦「社説」	【予習】 テキスト課題（社説）。 【復習】 講義内容（社説）の復習。	1
第10回	文章を読み、まとめる力を身につける⑧「情報整理」	【予習】 テキスト課題（情報整理）。 【復習】 講義内容（情報整理）の復習。	1
第11回	「語彙・読解・要旨作成」テスト	【予習】 これまでの学習内容を復習し、テストに備える。 【復習】 テスト問題を踏まえ、教科書の内容を復習する。	1
第12回	「自己紹介書を書く」①書き方の説明	【予習】 自身の大学生活での活動について、大まかに振り返っておく。 【復習】 書き方の説明を受けて、自己紹介書で取り上げる内容について検討する。	1
第13回	「自己紹介書を書く」②構成を考える	【予習】 自己紹介書の文章構成を自分なりに検討しておく。 【復習】 授業内での検討を踏まえ、文章構成を決定する。	1
第14回	「自己紹介書を書く」③ペンで清書し、提出する	【予習】 自己紹介書の下書きをあらかじめ完成させておく。 【復習】 自己紹介書の内容を振り返り、大学生活の今後の目標を考える。	1
第15回	まとめ、講評	【予習】 返却テストの見直し。 【復習】 返却された自己紹介書と講評を基に、自分の日本語表現力の現状について確認し、改善に努める。	1
教科書・参考書等			
(未定)			
成績評価方法・基準			
小テスト（20%）、テスト（50%）、提出物（30%）の点数により総合的に評価する。課題等については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

27	ビジネスマナー EGE-LE-620	選択 1単位 3年後期	
	Business Manners		
全学科3年全組 非常勤講師 浅野 純子			
授業の達成目標		授業形態	
人間力を磨き、社会で活躍するための基礎を学ぶ事により、信頼される人物として人や社会に愛され、自信をもって人生を生きる力を身につける。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一纏に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
自分自身を見つめ、社会性をもつ人間としての基本を学びます。また、仕事への取り組み方やより良い人間関係など、社会人として生きる上で大切な事を学習します。この授業は実務経験のある非常勤講師が担当し、実践的な授業構成とする。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		○ 実務経験のある教員担当	
担当講師は、企業での秘書業務や各種企業・団体での講演と研修講師を数多く歴任した長年にわたる指導実績を基に講義に取り入れている。		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	準備と集中力・健康管理・正しい姿勢・重心・立ち方 お辞儀・挨拶・立ち居振る舞い・歩き方・名刺交換	(予習) 挨拶・立ち居振る舞いに大切なポイントを考え実践 (復習) お辞儀・挨拶・歩き方など学んだことを体得する	1
第2回	笑顔・目力・滑舌・成功するための7つの習慣 身だしなみ・リクルートスーツ・カラーと洋服のマナー	(予習) 自分のイメージアップに必要な事と持ち物リスト作成 (復習) 目力・笑顔・滑舌・成功のための7つの習慣を体得する	1
第3回	自分に似合う色の見つけ方・言葉遣いの魔法 敬語・職場用語・ビジネス会話・言葉遣いテスト	(予習) 自分の話し方や言葉遣いのクセを書き出す (復習) 敬語・職場用語・接遇用語を繰り返し音読し習得する	1
第4回	間違いやすい言葉遣い・言葉の使い方・クッション言葉 接遇用語とご案内・接遇での正しい敬語表現	(予習) 敬語の資料を繰り返し音読をする (復習) 正しい言葉遣い・クッション言葉・接遇用語を音読	1
第5回	電話の特性・電話対応の基本・求人応募時の電話対応 電話の基本対応とケース別対応・ロールプレイング	(予習) 笑顔で話す習慣・敬語と正しい言葉遣いの習得 (復習) 電話対応の基本・ケース別対応の資料を音読	1
第6回	就職活動必勝法・面接合格ポイント・基本の挨拶の習得 シーン別挨拶言葉の習得・面接質問例の答え方	(予習) 自分の強み・自分が好きな事・関心がある事の分析 (復習) 笑顔でハキハキと自分の考えを分かりやすく話す練習	1
第7回	就職率が高い秘訣・コミュニケーション成功のポイント 面接の流れ・面接の実践練習・履歴書の準備	(予習) 面接質問に答えられるよう自己分析をし準備 (復習) 面接での答え方を練習し自信をつける	1
第8回	東北工業大学の履歴書・履歴書の書き方 書類選考合格の秘訣・面接実践練習・合格への道	(予習) 履歴書を作成できるように準備をする (復習) 書類選考で通る履歴書を完成させる	1
第9回	想定外の質問への対応・価値観・会社選びの優先順位 自己ライフサイクルシート・ブラック企業の見極め	(予習) 一番大切だと思う事・仕事選びの優先順位を書く (復習) 自分の人生の計画・価値観・仕事選びをまとめる	1
第10回	ビジネスマナー問題・ビジネスマナー問題の解答・解説 ビジネスマナーポイント・試験の目的と説明	(予習) 自分が習慣にしたいマナー・改善したいマナーを書く (復習) ビジネスマナーのポイントをしっかりと覚える	1
第11回	人間力・社会人の心構えとプロ意識・職場のマナー 報告連絡相談の仕方・会社の役職と組織・役割	(予習) 普段から連絡や報告を習慣にする (復習) 社会人としての心構えやマナーを習慣にし身につける	1
第12回	選択と決断力・クレーム対応と実例・ビジネス文書 添え状とお礼状・メールの書き方・敬称・押印・呼称	(予習) 決断と実行を早くする実践を行う (復習) 添え状とお礼状の下書きを書く	1
第13回	心のマネジメント・魅力的なパーソナリティ・席次 より良い人間関係を築くために・訪問・お茶の接遇	(予習) 人間関係を良くするために実践していることを書く (復習) 心のマネジメントと魅力的なパーソナリティの音読習慣	1
第14回	評価方法の説明・ビジネスでの査定・冠婚葬祭のマナー 食事のマナー・乾杯とお祝いの挨拶・万歳と締め作法	(予習) 冠婚葬祭や食事のマナーについて不明な点を書き出す (復習) 冠婚葬祭・食事のマナーなどについて習得をする	1
教科書・参考書等			
役立つビジネスマナー 浅野 純子			
成績評価方法・基準			
ビジネスマナーの試験問題 70%・面接実践 30%・試験の評価等については次回授業時に全体に対しフィードバックを行う			

28	英語 I A AGE-LE-130				必修 1単位 1年前期			
	English I A							
E 1年P組 八幡 尚子		T 1年P組・S組 米澤 光也		C 1年P組 小倉 悠輝		K 1年X組 鈴木 淳		
E 1年Q組 漆原 幸子		T 1年Q組・R組 星 かおり		C 1年Q組 サイモン・フック		K 1年Y組 高橋 哲徳		
E 1年R組 鈴木 淳		A 1年P組・Q組 八幡 尚子		C 1年R組 相田 明子				
E 1年S組 高橋 哲徳		A 1年R組・S組 柴田 尚子						
授業の達成目標								
1. 品詞、文の種類、文型、時制などの基礎的な英文法を理解できる。 2. 基礎的英文法の理解に基づいて、speaking、listening、writing、readingの四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。								
授業形態								
<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当)								
<input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)								
<input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)								
<input type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)								
授業の概要								
speaking、listening、writing、readingの四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて情報の送受信を行うための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文の種類、五文型、時制である。								
実務経験を活かした教育について								
<input type="checkbox"/> 該当科目 教職科目 (工業)								
<input type="checkbox"/> 教職科目 (情報)								
<input type="checkbox"/> 地域志向科目								
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング								
授業計画 (各回の学習内容等)								
	学習内容 (授業方法)			学習課題 (予習・復習)			時間(時)	
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)			品詞の種類と用法について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1	
第2回	品詞の種類と用法：解説			品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、辞書を使って予習し、単語の意味、発音を確認する。			1	
第3回	品詞の種類と用法：演習問題			品詞に関して講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。英文の基本構成と種類について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第4回	英文の基本構成と文の種類：解説			品詞の演習問題の不確実な部分をノート等を用いて復習する。英文の基本構成と種類について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第5回	英文の基本構成と文の種類：演習問題			英文の基本構成と種類に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。第1-3文型について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第6回	文型 (第1-3文型)：解説			第1-3文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第7回	文型 (第1-3文型)：演習問題			第1-3文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。第4-5文型他について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第8回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：解説			第4-5文型他に関して、ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第9回	文型 (第4-5文型、その他の文型)：演習問題			第4-5文型他に関して、ノート等を用いて不確実な部分を復習する。現在、過去、未来時制について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第10回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：解説			現在、過去、未来時制に関して、ノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第11回	時制 (現在、過去、未来時制の諸用法)：演習問題			現在、過去、未来時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。進行形、完了形について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第12回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：解説			進行形、完了形に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第13回	時制 (進行形、完了形の諸用法)：演習問題			前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1	
第14回	まとめと試験			これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1	
第15回	前期学習内容の確認			試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1	
教科書・参考書等								
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。								
成績評価方法・基準								
成績は定期試験によって評価する。								

29	英語 I B AGE-LE-231		必修 1単位 1年後期				
	English I B						
E 1年P組	八幡 尚子	T 1年P組	米澤 光也	A 1年P組・S組	三上 由比	C 1年P組	佐藤 亮輔
E 1年Q組	漆原 幸子	T 1年Q組	青木 愛美	A 1年Q組・R組	柴田 高子	C 1年Q組	サイモン・クック
E 1年R組	鈴木 淳	T 1年R組	星 かおり			C 1年R組	三上 由比
E 1年S組	高橋 哲徳	T 1年S組	徳永 慎也			C 1年X組	鈴木 淳
						C 1年Y組	高橋 哲徳
授業の達成目標						授業形態	
1. 主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較などのより複雑な英文の理解に必要な文法項目を理解できる。 2. 上の文法項目の理解に基づいて、speaking、listening、writing、readingの四分野において、日常的場面でのコミュニケーションを行うことができる。						<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input checked="" type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要						該当科目	
speaking、listening、writing、readingの四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、長文読解のための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、主語と動詞の一致、助動詞、前置詞、接続詞、比較である。						<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について							
授業計画 (各回の学習内容等)							
	学習内容 (授業方法)		学習課題 (予習・復習)			時間(時)	
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)		英文の形式と特徴について、未知の英単語を辞書を使って予習し、英文を音読し、発音、アクセントを確認する。			1	
第2回	英文の形式と特徴：解説		英文の形式と特徴に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第3回	英文の形式と特徴：演習問題		英文の形式と特徴に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。主語と動詞の一致について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第4回	主語と動詞の一致：解説		主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第5回	主語と動詞の一致：演習問題		主語と動詞の一致の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。前置詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第6回	前置詞の諸用法：解説		前置詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第7回	前置詞の諸用法：演習問題		前置詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。接続詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第8回	接続詞の諸用法：解説		接続詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第9回	接続詞の諸用法：演習問題		接続詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。比較の表現について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第10回	比較の表現：解説		比較の表現に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第11回	比較の表現：演習問題		比較の表現に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。助動詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第12回	助動詞の諸用法：解説		助動詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第13回	助動詞の諸用法：演習問題		後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1	
第14回	まとめと試験		これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1	
第15回	後期学習内容の確認		試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1	
教科書・参考書等							
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。							
成績評価方法・基準							
成績は定期試験によって評価する。							

30	英語ⅡA AGE-LE-332		必修 1単位 2年前期					
	English II A							
E 2年P組	米澤 光也	T 2年P組	米澤 光也	A 2年P組	佐藤 亮輔	C 2年P組	米澤 光也	
E 2年Q組	志子田真由子	T 2年Q組	柴田 尚子	A 2年Q組	徳永 慎也	C 2年Q組	志子田真由子	
E 2年R組	高橋 哲徳	T 2年R組	高橋 哲徳	A 2年S組	酒井 祐輔	C 2年R組	小倉 悠輝	
E 2年S組	鈴木 淳	T 2年S組	鈴木 淳	A 2年R組	青木 愛美	C 2年X組	徳永 慎也	
							C 2年Y組	青木 愛美
授業の達成目標							授業形態	
1. 品詞、文型、時制、受動態、関係詞などの基礎的な英文法を理解できる。 2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場で用いられる TOEIC レベルの英文メール、手紙、広告などの、基本的、実践的内容の英文を理解できる。							単独 (1人が全回担当)	
							複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
							オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
							○ クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要							該当科目	
speaking, listening, writing, reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づき、TOEIC の適語補充問題レベルの英文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、品詞、文型、時制、受動態、関係詞である。							教職科目 (工業)	
							教職科目 (情報)	
							地域志向科目	
実務経験を活かした教育について							実務経験のある教員担当	
							アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)								
	学習内容 (授業方法)			学習課題 (予習・復習)			時間(時)	
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)			TOEIC の出題形式と特徴について問題集やインターネットなどを用いて予習しておく。			1	
第2回	TOEIC の出題形式と特徴：解説			TOEIC の出題形式と特徴についてテキストや講義ノート等を用いて予習し次回の模擬試験演習に備える。			1	
第3回	TOEIC の出題形式と特徴：模擬試験演習			模擬試験演習の問題を再度解いて TOEIC の出題形式と特徴を復習する。文型・品詞について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第4回	文型の理解と品詞の判別：解説			文型・品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第5回	文型の理解と品詞の判別：演習問題			文型・品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。可算名詞と不可算名詞について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第6回	可算名詞と不可算名詞：解説			可算名詞と不可算名詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第7回	可算名詞と不可算名詞：演習問題			可算名詞と不可算名詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。動詞の変化と時制について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第8回	動詞の変化と時制：解説			動詞の変化と時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第9回	動詞の変化と時制：演習問題			動詞の変化と時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。受動態の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第10回	受動態の諸用法：解説			受動態の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第11回	受動態の諸用法：演習問題			受動態の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。関係詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第12回	関係詞の諸用法：解説			関係詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第13回	関係詞の諸用法：演習問題			前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1	
第14回	まとめと試験			これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1	
第15回	前期学習内容の確認			試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1	
教科書・参考書等								
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。								
成績評価方法・基準								
成績は定期試験によって評価する。								

31	英語ⅡB AGE-LE-433		必修 1単位 2年後期				
	English II B						
E 2年P組	三上 由比	T 2年P組	星 かおり	A 2年P組・R組	米澤 光也	C 2年P組	サイモン・クック
E 2年Q組	青木 愛美	T 2年Q組	柴田 尚子	A 2年Q組	小倉 悠輝	C 2年Q組	志子田真由子
E 2年R組	高橋 哲徳	T 2年R組	高橋 哲	A 2年S組	鈴木 淳	C 2年R組	小倉 悠輝
E 2年S組	酒井 祐輔	T 2年S組	鈴木 淳			C 2年X組	徳永 慎也
						K 2年Y組	青木 愛美
授業の達成目標						授業形態	
1. 分詞、不定詞、動名詞、仮定法などにより高度な英文法に関する知識を持つ。 2. 英語圏での日常生活、およびビジネスの現場において用いられる TOEIC レベルの社内通知、表、アンケートなどを含む様々なフォームの英文を理解できる。						<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="checkbox"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input checked="" type="checkbox"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要						該当科目	
speaking listening writing reading の四分野に関わる総合的英語学習を行うが、特に、英文法の基本的事項に関する理解に基づいて、TOEIC レベルの長文に対応するための基礎を学ぶ。取り上げる文法項目は、分詞、不定詞、動名詞、仮定法である。						<input type="checkbox"/> 教職科目 (工業) <input type="checkbox"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について							
授業計画 (各回の学習内容等)							
	学習内容 (授業方法)		学習課題 (予習・復習)			時間(時)	
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)		TOEIC の長文問題の形式と特徴について問題集、インターネットなどを用いて予習しておく。			1	
第2回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：解説		TOEIC の長文問題の形式と特徴についてテキストや講義ノート等を用いて予習し次回の模擬試験演習に備える。			1	
第3回	TOEIC の長文問題の形式と特徴：模擬試験演習		模擬試験演習の問題を再度解いて TOEIC 長文問題の形式と特徴を復習する。現在分詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第4回	現在分詞の諸用法：解説		現在分詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第5回	現在分詞の諸用法：演習問題		現在分詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。過去分詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第6回	過去分詞の諸用法：解説		過去分詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第7回	過去分詞の諸用法：演習問題		過去分詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。to 不定詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第8回	to 不定詞の諸用法：解説		to 不定詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第9回	to 不定詞の諸用法：演習問題		to 不定詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。動名詞の諸用法について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第10回	動名詞の諸用法：解説		動名詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第11回	動名詞の諸用法：演習問題		動名詞の諸用法に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。仮定法の表現について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第12回	仮定法の表現：解説		仮定法の表現に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。			1	
第13回	仮定法の表現：演習問題		後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。			1	
第14回	まとめと試験		これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。			1	
第15回	後期学習内容の確認		試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。			1	
教科書・参考書等							
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。							
成績評価方法・基準							
成績は定期試験によって評価する。							

32	英会話A AGE-LE-140	選択 1単位 1年前期	
English Conversation A			
E・T・C 1年全組 准教授 サイモン・フック A・K 1年全組 非常勤講師 クレイグ・マクドナルド			
授業の達成目標	The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.	授業形態	
		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)			
授業の概要	The course covers a variety of topics which will give students the opportunities to learn & share information about themes relevant to students' daily lives. In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively.	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について	実務経験のある教員担当		
	<input type="radio"/> アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 1-1 of textbook.	Course guidance & conversation warm-up exercises・The importance of speaking English & creating a collaborative environment.	1
第2回	Stage 1-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - general interaction.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities.	1
第3回	Stage 1-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第4回	Stage 1-4 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - keeping the conversation going.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第5回	Stage 1-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第6回	Stage 2-1 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - asking questions.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第7回	Stage 2-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第8回	Stage 2-3 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - giving feedback.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第9回	Stage 2-4 of textbook. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第10回	Stage 2-5 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - changing the topic.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第11回	Stage 3-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第12回	Stage 3-2 of textbook. Vocabulary test. Learning conversation skills - gestures & other non-verbal communication.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Practice of taught conversation skills.	1
第13回	Stage 3-3 of textbook. Vocabulary test. Speaking test	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第14回	End of semester test	End of semester test	1
第15回	End of semester review & re-test	End of semester review & re-test	1
教科書・参考書等			
開拓社 無敵リスニング〈中級〉 エイドリアン・リース、サイモン・フック			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment and an end of semester test.			

33	英会話 B AGE-LE-241	選択 1単位 1年後期	
English Conversation B			
全学科1年全組 准教授 サイモン・クック			
授業の達成目標	授業形態		
The objective of this course is to provide students with a variety of opportunities to express themselves in English. Focus will be placed upon speaking & listening.	<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)		
	<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
In addition to the course textbook, the course is supplemented by a variety of interactive activities such as vocabulary & transcription exercises. These activities will help students to gain confidence in using the four skills of speaking, listening, reading & writing in English more spontaneously & creatively. Students will also learn presenting skills, vital for learning to express themselves & their ideas to a wider audience in English.	教職科目 (工業)		
	教職科目 (情報)		
	地域志向科目		
	実務経験のある教員担当		
実務経験を活かした教育について	<input type="radio"/> アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	Course introduction & orientation. Stage 4-1 of textbook.	Course guidance & conversation warm-up exercises・The importance of speaking English & creating a collaborative environment.	1
第2回	Stage 4-2 of textbook. Vocabulary test. Presentation skills #1	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Begin thinking about presentation topics.	1
第3回	Stage 4-3 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第4回	Stage 4-4 of textbook. Vocabulary test. TED talks #1.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第5回	Stage 4-5 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation skills #2.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第6回	Stage 5-1 of textbook. Vocabulary test. TED talks #2.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第7回	Stage 5-2 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第8回	Stage 5-3 of textbook. Vocabulary test. TED talks #3.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第9回	Stage 5-4 of textbook. Transcription activity. Presentation skills #3.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第10回	Stage 5-5 of textbook. Vocabulary test. TED talks #4.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第11回	Stage 6-1 of textbook. Vocabulary test. Transcription activity. Presentation skills #4.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics. Presentation practice.	1
第12回	Stage 6-2 of textbook. Vocabulary test. TED talks #5.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Reflection & discussion of viewed presentation.	1
第13回	Stage 3-3 of textbook. Vocabulary test. Speaking test. Final Presentations.	Vocabulary test & listening activity based on the topic・Collaborative dictogloss & group discussion activities. Transcription & discussion of group dynamics.	1
第14回	End of semester test.	End of semester test.	1
第15回	End of semester review & re-test.	End of semester review & re-test.	1
教科書・参考書等			
開拓社 無敵リスニング〈中級〉エイドリアン・リース、サイモン・クック			
成績評価方法・基準			
Students will be evaluated through both continual assessment and an end of semester test.			

34	資格英語A AGE-LE-150	選択 1単位 2年前期	
English for Specific Purposes A			
全学科2年全組 教授 高橋 哲徳			
授業の達成目標	1. 品詞、文の種類、文型、時制、主語と動詞の一致などの英文法の基礎的事項が理解できる。 2. 英語の音韻体系の基礎的事項が理解できる。 3. TOEIC テストへの基礎的対応力を有する。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いて、TOEIC テストへの基本的な知識と対応能力を身につける。取り上げる文法項目は品詞、文型、時制、準動詞、主語と動詞の一致などの基礎的事項や重要イディオムなどであり、400点を目標とした授業を行う。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	TOEIC の出題形式と特徴について問題集などを用いて調べておく。品詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第2回	TOEIC 対策演習 (品詞) 解説	品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第3回	TOEIC 対策演習 (品詞) 演習	品詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。時制のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第4回	TOEIC 対策演習 (時制) 解説	時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第5回	TOEIC 対策演習 (時制) 演習	時制に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。動詞の形のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第6回	TOEIC 対策演習 (動詞の形) 解説	動詞の形に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第7回	TOEIC 対策演習 (動詞の形) 演習	動詞の形に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。主語と動詞の一致のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第8回	TOEIC 対策演習 (主語と動詞の一致) 解説	主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第9回	TOEIC 対策演習 (主語と動詞の一致) 演習	主語と動詞の一致に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。文型のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第10回	TOEIC 対策演習 (文型) 解説	文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第11回	TOEIC 対策演習 (文型) 演習	文型に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。前置詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第12回	TOEIC 対策演習 (前置詞) 解説	前置詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第13回	TOEIC 対策演習 (前置詞) 演習	前期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。	1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。	1
第15回	前期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。	1
教科書・参考書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			

35	資格英語 B AGE-LE-251	選択 1単位 2年後期	
English for Specific Purposes B			
全学科2年全組 准教授 鈴木 淳			
授業の達成目標	1. 受動態、準動詞、関係詞、仮定法などより複雑な構造の英文を理解できる。 2. TOEIC リーディング・セクションの長文問題への対応力を有する。		
	授業形態		
	○ 単独 (1人が全回担当)		
	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	TOEIC 対策用のテキストや参考書などを用いた演習を通して、より複雑な構造の英文を理解する。取り扱う文法事項は、受動態や不定詞、動名詞、分詞、関係詞、仮定法などである。また、重要イディオムや語彙問題の演習を通して、よりスコアに結び付く実践的な力をつける。450～500点を目標とした授業内容である。		
	該当科目		
	教職科目 (工業)		
	教職科目 (情報)		
	地域志向科目		
実務経験を活かした教育について	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、計画、教材、学習方法、成績評価法など)	TOEIC の出題形式と特徴について問題集などを用いて調べておく。受動態のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第2回	TOEIC 対策演習 (受動態) 演習・解説	受動態に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。不定詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第3回	TOEIC 対策演習 (不定詞) 解説	不定詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第4回	TOEIC 対策演習 (不定詞) 演習	不定詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。動名詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第5回	TOEIC 対策演習 (動名詞) 解説	動名詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第6回	TOEIC 対策演習 (動名詞) 演習	動名詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。分詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第7回	TOEIC 対策演習 (分詞) 解説	分詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第8回	TOEIC 対策演習 (分詞) 演習	分詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。関係詞のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第9回	TOEIC 対策演習 (関係詞) 解説	関係詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第10回	TOEIC 対策演習 (関係詞) 演習	関係詞に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。比較のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第11回	TOEIC 対策演習 (比較) 解説	比較に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。演習問題について、単語の意味、発音を確認する。	1
第12回	TOEIC 対策演習 (比較) 演習	比較に関してノート等を用いて不確実な部分を復習する。仮定法のユニットについて、単語の意味、発音を確認する。	1
第13回	TOEIC 対策演習 (仮定法) 演習・解説	後期の学習内容に関してテキストや講義ノート等を用いて不確実な部分を復習する。	1
第14回	まとめと試験	これまでの学習を復習し試験に備える。解答例により試験を復習する。	1
第15回	後期学習内容の確認	試験でできなかった問題を再度解き理解を深める。	1
教科書・参考書等			
教科書・参考書については授業開始時、もしくは適宜必要に応じて指示する。			
成績評価方法・基準			
成績は定期試験によって評価する。ただし、受講者は、授業期間内に行われる「TOEIC IP テスト」を必ず受験すること。未受験の場合には、単位は認められない。			

36	フランス語A AGE-LE-160 French A	選択 1単位 1年前期	
全学科1年全組 非常勤講師 玉田優花子			
授業の達成目標 純粋な驚きや発見を大切に、英語とは似て非なるものである仏語という言葉に親しみ、初歩的な文法を学びながら、語学の学習の仕方自体を学ぶ。	授業形態 ○ 単独 (1人が全回担当) 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要 仏語の初等文法を、教科書に沿って学習する。どの時間も予習および復習が求められる。授業中はペアワークやグループワークにも適宜取り組む。文法を生きた場面に落とし込んで理解することや、文法を用いて自己表現することを重視しながら、「書く・読む・聞く・話す」の4技能をバランス良くトレーニングしていく。	該当科目 教職科目 (工業) 教職科目 (情報) 地域志向科目		
実務経験を活かした教育について	実務経験のある教員担当 アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	オリエンテーション	【予習】 なぜ仏語を学びたいのか、自分の中で言語化しておく。 【復習】 オリエンテーションの内容を振り返り、自分なりに半年間の目標を立てる。	1
第2回	アルファベ / 綴り字と発音	【予習】 昔の仏語を見つけてくる / 知っている仏語を書き出しておく。 【復習】 英語と同じ綴りの仏語の単語一覧を、仏語式に読めるようにする。	1
第3回	辞書の引き方	【予習】 自分に合った紙の辞書を吟味して購入し、めくったり読んだりしてみる。 【復習】 指示する単語の情報を、辞書を使って調べてくる。	1
第4回	第1課 名詞の性 / 定冠詞	【予習】 第1課の地図を参考に、フランス近隣諸国の地理を確認しておく。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第5回	第2課 不定冠詞 / 部分冠詞	【予習】 第2課の「説明」1・2を読み、不定冠詞・部分冠詞という概念を捉える。 【復習】 部分冠詞を用いる食べ物・飲み物の語彙を復習する。	1
第6回	第2課 不定冠詞 / 部分冠詞	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第1回~の内容を復習し、小テスト1に備える。	1
第7回	第3課 être / tu と vous / 数0~10 小テスト1	【予習】 第3課の「説明」1・2を読み、英語と仏語の人称の共通点・相違点を考えてみる。 【復習】 「説明」1および3の音声を何度も聞き、êtreの活用と、数0~10を覚える。	1
第8回	第3課 être / tu と vous / 数0~10	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第9回	第4課 -er 動詞 / エリジオンとリエゾン	【予習】 第4課の「説明」1を見て、この表の仕組みを分析する。 【復習】 パリの観光地の固有名詞を復習する。	1
第10回	第4課 -er 動詞 / エリジオンとリエゾン	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第7回~の内容を復習し、小テスト2に備える。	1
第11回	第5課 動詞 aller / à と定冠詞の縮約 小テスト2	【予習】 第5課の「説明」1・2を見て、「àと定冠詞の縮約」とはどのような文法なのか考える。 【復習】 縮約が起こる場合と起こらない場合を区別しながら、初出の表現を復習する。	1
第12回	第5課 動詞 aller / à と定冠詞の縮約	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第13回	第6課 否定文 / 動詞 avoir	【予習】 第6課の「説明」1を見て、英語とは異なる否定文の構造を理解する。 【復習】 「説明」2の音声を何度も聞き、avoirの活用を覚える。	1
第14回	第6課 否定文 / 動詞 avoir	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第11回~の内容を復習し、小テスト3に備える。	1
第15回	小テスト3 = 前期期末試験 半年間のまとめ	【予習】 半年を通して学んだ事項を総復習し、小テスト3 = 期末試験に備える。 【復習】 第1回目の授業で立てた目標が達成できたか、半年間の学習態度を振り返る。	1
教科書・参考書等			
教科書：井上美穂、F.-Y. シュードル『書く・読む・聞く・話す フランス語 1』初版 (第三書房) 辞書 (仏和辞典)：授業中は必ず紙の辞書を使用すること。どんな辞書を購入すべきかについては第1回目の授業で説明する。電子辞書の購入は任意。			
成績評価方法・基準			
考查点 60% (20点分の小テストを3回実施し、60点分とする) 平常点 40% (課題提出、授業への取り組み等で40点分とする) 課題については、講義時に、全体に対しフィードバックを行う。			

37	ドイツ語A AGE-LE-170	選択 1単位 1年前期	
German A			
E・T・C 1年全組 非常勤講師 押領司史生 A・K 1年全組 非常勤講師 佐藤 駿			
授業の達成目標	ドイツ語の基礎の習得。ドイツ語の発音と語形変化に慣れることを目標とする。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	ドイツ語の理解に最も重要な動詞の現在人称変化と冠詞類、人称代名詞の格変化を中心に発音、訳読、作文の演習を行なう。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習として授業要綱をよく読んで準備しておく。ガイダンス内容を確認し、復習する。	1
第2回	アルファベットと母音の発音	英語との相違に注意して予習する。正確に発音できるように復習する。	1
第3回	子音の発音と数詞	英語との違いに注意して予習する。正しく発音できるまで繰り返し復習する。	1
第4回	動詞の基本的な現在人称変化	動詞の語尾変化に注意して予習する。完全に覚えるまで繰り返し復習する。	1
第5回	平叙文と疑問文	動詞の位置に注意して予習する。すらすら言えるようになるまで復習する。	1
第6回	sein と haben の現在人称変化 (不規則変化)	動詞の変化に注意して予習する。不規則変化を完全に覚えるように復習する。	1
第7回	名詞の文法上の性と定冠詞の格変化	英語と大きく異なる点に注意して予習する。定冠詞の格変化を何度も書き、発音して、覚えるまで復習する。	1
第8回	不定冠詞の格変化	不定冠詞の語尾変化に注意して予習する。不定冠詞の格変化をすらすら言えるように復習する。	1
第9回	所有冠詞 (不定冠詞類)	語尾に注意して予習する。所有冠詞の意味、語尾変化を繰り返し書いて復習する。	1
第10回	定冠詞類	定冠詞との語尾の相違に注意して予習する。定冠詞類の意味、語尾変化を何度も発音しながら復習する。	1
第11回	主な不規則変化動詞	主に幹母音が変わる点に注意して予習する。不規則変化を正しく覚えるように復習する。	1
第12回	名詞の複数形	主に5パターンあることに注意して予習する。辞書の表記に慣れるように復習する。	1
第13回	前置詞	格支配に注意して予習する。前置詞を使った表現を作って復習する。	1
第14回	人称代名詞の格変化	発音に注意して予習する。動詞や前置詞と組み合わせた表現を作って復習する。	1
第15回	まとめ	予習としてこれまでの学習で理解不十分な箇所を確認する。理解不十分な箇所を重点的に復習する。	1
教科書・参考書等			
新倉真矢子 (他) 「ゲナウ! グラマティック ノイ」 第三書房、2018年 (2,200円+税) ※独和辞典としては「新アポロン独和辞典」(同学社)「エクセル独和辞典」(郁文堂)「新キャンパス独和辞典」(三修社)「初級者に優しい独和辞典」(朝日出版社)などを推薦する。			
成績評価方法・基準			
100点満点で60点以上を合格とする。			

38	韓国語A AGE-LE-180	選択 1単位 1年前期	
	Korean A		
全学科1年全組 非常勤講師 黄 孝善			
授業の達成目標		授業形態	
韓国語の読み書きができることをめざす。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
ハングル文字と発音を始め、ハンガルの仕組みの理解のために基本文法、句型などを教えて簡単な読み書きができることをめざす。韓国語学習の入り口として韓国語に対する全体像を身につけてもらうことで、韓国語への興味を持たせることを目的とする。韓国の映画や歌などの視聴覚教材を使い、韓国の風俗、文化に関する知識を深める。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	イントロダクション 文字と子音・母音、ハングルについて	【予習】 朝鮮半島の言語は何かについて予め調べておく。 【復習】 講義内容の復習。	1
第2回	基本母音と練習	【予習】 日本語の母音と子音は何かについて調べておく。 【復習】 ハングルの母音の発音の練習と関連単語を覚える。	1
第3回	基本子音Ⅰ (ㄱ~ㄴ)	【予習】 基本子音と母音の組み合わせで読み練習。 【復習】 講義内容復習および単語を覚える	1
第4回	基本子音Ⅱ (ㄷ~ㄹ)	【予習】 基本子音と母音の組み合わせで読み練習。 【復習】 講義内容復習および単語を覚える	1
第5回	子音 (濃音)	【予習】 濃音について調べておく。 【復習】 濃音の発音練習と単語を覚える。	1
第6回	複合母音Ⅰ	【予習】 複合母音について調べておく。 【復習】 複合母音の発音練習と単語を覚える。	1
第7回	複合母音Ⅱ	【予習】 複合母音について調べておく。 【復習】 複合母音の発音練習と単語を覚える。	1
第8回	パッチムⅠ (ㄱ, ㄴ, ㄷ)	【予習】 パッチムについて調べておく。 【復習】 パッチムの発音練習と単語を覚える。	1
第9回	パッチムⅡ (ㄹ, ㄴ, ㅇ, ㄹ)	【予習】 パッチムについて調べておく。 【復習】 パッチムの発音練習と単語を覚える。	1
第10回	連音化と発音練習Ⅰ	【予習】 自分の名前と出身地をハングルで書いてみる。 【復習】 配付資料の読み練習と単語を覚える。	1
第11回	連音化と発音練習Ⅱ	【予習】 配付資料の読みの調査と練習。 【復習】 配付資料の読み練習と単語を覚える。	1
第12回	「名詞+です」にあたる韓国語の丁寧形「~입니다体」	【予習】 教科書会話編の第1課予習。 【復習】 丁寧形の練習と第1課の単語・会話文を覚える。	1
第13回	「名詞+です」にあたる韓国語の丁寧形「~요体」	【予習】 教科書会話編の第2課予習。 【復習】 丁寧形の練習と第2課の単語・会話文を覚える。	1
第14回	自己紹介の練習と発表	【予習】 自己紹介の文作成。 【復習】 自己紹介実施。	1
第15回	まとめと試験	【予習】 これまでの講義内容や教科書の確認。 【復習】 試験後に間違ったところを再復習する。	1
教科書・参考書等			
教科書「かんたん!韓国語」金殷模・権来順・宋貞熹・文慶喆 著 朝日出版社			
成績評価方法・基準			
定期試験 50%、小テスト 30%、課題 10%、授業貢献度 10%により総合的に評価する。授業中に実施した課題についてはその後の授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

39	中国語A AGE-LE-190	選択 1単位 1年前期	
	Chinese A		
全学科1年全組 非常勤講師 徐 麗			
授業の達成目標		授業形態	
初めて中国語を学習する学生を対象とする。中国語の発音・文法に慣れ、基礎的な知識を習得することを目標とする。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
中国語の簡体字や発音を始め、中国語の理解のために必要な文法等を学習し、基礎的な知識を習得することを旨とする。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	授業内容をよく読んで予習しておく。ガイダンス内容を確認、映像などにて印象付けをする。	1
第2回	単母音・声調	中国語の単母音・声調を予習する。四声・単母音を正確に発音し、分けられるように復習する。	1
第3回	単母音・声調・複母音	単母音と声調を復習する。複母音を予習復習する。	1
第4回	単母音・声調・複母音・子音	単母音・声調・複母音を復習する。子音を予習復習する。	1
第5回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音	単母音・声調・複母音・子音を復習する。鼻音を予習復習する。	1
第6回	第三の声調	単母音・声調・複母音・子音・鼻音を復習する。第三の声調を予習復習する。	1
第7回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音・第三の声調	短い言葉で単母音・声調・複母音・子音・鼻音・7第三の声調を予習復習する。	1
第8回	単母音・声調・複母音・子音・鼻音・第三の声調	短い言葉で単母音・声調・複母音・子音・鼻音・7第三の声調を予習復習する。	1
第9回	第一課 开学的第一天	挨拶会話・自己紹介を予習復習する。人証代名詞・動詞。	1
第10回	第二課 中华民族园	少数民族の紹介から指示代名詞・形容詞・述語文・副詞・助詞を予習復習する。	1
第11回	第三課 傣族新年	お祭りを背景に数詞述語文・動詞述語文・語気助詞・疑問詞疑問文を予習復習する。	1
第12回	第四課 旅行	世界遺産での旅行を背景に反復疑問文・動詞“在・有”助動詞“想”を予習復習する。	1
第13回	第五課 新家	コラムで文化紹介及び家族ホモンを背景に動詞“歡迎”前置詞“在”省略疑問文“呢”・時刻を予習復習する。	1
第14回	第六課 兵马俑	博物館見学を背景に助動詞“可以”進行の表し方・連動文・動詞の重ね方を予習復習する。	1
第15回	まとめと試験	これまでの講義すべてについて、教科書・ノート等で確認する。講義内容、配付資料等で整理、確認を行い復習する。前期末試験をする。	1
教科書・参考書等			
教科書「入門 ビジュアル中国」衛裕群・王院京 著 朝日出版社			
成績評価方法・基準			
すべての練習問題の記入 (平常 10 点) 及び期末試験 (90 点) を総合して判断する。			

40	フランス語 B AGE-LE-261	選択 1単位 1年後期	
French B			
全学科1年全組 非常勤講師 玉田優花子			
授業の達成目標	授業形態		
純粋な驚きや発見を大切に、英語とは似て非なるものである仏語という言葉の枠組みに慣れ、初歩的な文法を学びながら、自分なりの語学学習の習慣を定着させる。	○	単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	該当科目		
引き続き、仏語の初等文法を、教科書に沿って学習する。どの時間も予習および復習が求められる。授業中はペアワークやグループワークにも適宜取り組む。文法を生きた場面に落とし込んで理解することや、文法を用いて自己表現することを重視しながら、「書く・読む・聞く・話す」の4技能をバランス良くトレーニングしていく。		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	オリエンテーション／前期の復習	【予習】 なぜ仏語を学んでいるのか、自分の中で改めて言語化しておく。 【復習】 オリエンテーションの内容を振り返り、改めて自分なりに半年間の目標を立てる。	1
第2回	第7課 否定のde／名詞の複数形	【予習】 第7課の「説明」1～3を読んで内容を把握し、それぞれ対応する音声も聞いておく。 【復習】 好き嫌い表現を復習する。	1
第3回	第7課 否定のde／名詞の複数形	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第4回	第8課 形容詞の性数一致／形容詞の位置	【予習】 第8課の「説明」1を読み、形容詞の性数一致という英語にはない概念を理解する。 【復習】 「説明」2の音声を聞きながら、名詞の前に来る形容詞を覚える。	1
第5回	第8課 形容詞の性数一致／形容詞の位置	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第6回	第9課 男性単数第二形を持つ形容詞／国籍・職業の女性名詞の作り方	【予習】 第9課の「説明」1を読み、男性単数第二形というマニアックな文法について理解する。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第1回～の内容を復習し、小テスト1に備える。	1
第7回	第10課 所有形容詞 小テスト1	【予習】 第10課の「説明」1を見て、この表の仕組みを分析する。 【復習】 「説明」1の音声を何度も聞きながら、所有形容詞を覚える。	1
第8回	第10課 所有形容詞	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第9回	第11課 近接未来／近接過去	【予習】 第11課の「説明」1～3を読み、近接未来と近接過去の内容および文法を理解する。 【復習】 「説明」2の音声を何度も聞きながら、venirの活用を覚える。	1
第10回	第11課 近接未来／近接過去	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第7回～の内容を復習し、小テスト2に備える。	1
第11回	第12課 -ir動詞／指示形容詞／人称代名詞の直接目的補語 小テスト2	【予習】 第12課の「説明」1～3を読んで内容を把握し、それぞれ対応する音声も聞いておく。 【復習】 音声を聞きながら、-ir動詞の活用、指示形容詞、人称代名詞の直接目的補語を覚える。	1
第12回	第12課 -ir動詞／指示形容詞／人称代名詞の直接目的補語	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組む。	1
第13回	第13課 質問の作り方／deと定冠詞の縮約	【予習】 第13課の「説明」1・2を読み、英語とは全く異なる疑問文の作り方を理解する。 【復習】 三通りの疑問文の作り方を整理し、deと定冠詞の縮約も使えるように復習する。	1
第14回	第13課 質問の作り方／deと定冠詞の縮約	【予習】 指示する「練習」を解いてくる。 【復習】 指示する補足問題に取り組むとともに、第11回～の内容を復習し、小テスト3に備える。	1
第15回	小テスト3＝後期期末試験 半年間のまとめ	【予習】 半年を通して学んだ事項を総復習し、小テスト3＝期末試験に備える。 【復習】 第1回日の授業で立てた目標が達成できたか、半年間の学習態度を振り返る。	1
教科書・参考書等			
教科書：井上美穂、F.-Y. シュードル『書く・読む・聞く・話す フランス語 1』初版 (第三書房) 辞書 (仏和辞典)：前期と同様、授業中は必ず紙の辞書を使用すること。			
成績評価方法・基準			
考查点 60% (20点分の小テストを3回実施し、60点分とする) 平常点 40% (課題提出、授業への取り組み等で40点分とする) 課題については、講義時に、全体に対しフィードバックを行う。			

41	ドイツ語B AGE-LE-271	選択 1単位 1年後期	
German B			
全学科1年全組 非常勤講師 松崎 裕人			
授業の達成目標	前期に習得したことを基礎にして、さらなる読解力、作文力の向上を目指す。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	ドイツ語Aで習得したことを基にして、発音、訳読、作文の演習を継続する。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス	予習としてドイツ語Aの学習範囲で理解不十分な箇所を確認する。ドイツ語Aの学習内容を復習する。	1
第2回	分離動詞	英語にはないタイプの動詞であることに注意して予習する。分離動詞を使って正確に表現できるように復習する。	1
第3回	話法の助動詞	英語の can や will 等との相違に注意して予習する。不規則変化や枠構造を理解するまで繰り返し書いて復習する。	1
第4回	命令形	英語とは違い3パターンあることに注意して予習する。命令文を作って復習する。	1
第5回	並列接続詞	語順に注意して予習する。主な並列接続詞を暗記するように復習する。	1
第6回	動詞の三基本形	過去基本形と過去分詞の語形に注意して予習する。規則変化、分離動詞の三基本形を正確に覚えるように復習する。	1
第7回	過去形	過去人称変化に注意して予習する。過去時称の文を作って復習する。	1
第8回	現在完了形	枠構造に注意して予習する。現在完了時称の文をすらすら言えるように復習する。	1
第9回	副文 (従属接続詞)	動詞の位置に注意して予習する。従属接続詞を使った文を作って復習する。	1
第10回	比較級、最上級	形容詞の語形に注意して予習する。特に最上級を使った表現を何度も書いて復習する。	1
第11回	再帰代名詞と再帰動詞	人称変化に注意して予習する。再帰動詞を用いた文を作って復習する。	1
第12回	形容詞の格変化	英語にはない文法事項であることに注意して予習する。冠詞+形容詞+名詞の表現を作り、何度も発音して復習する。	1
第13回	非人称表現	英語との相違に注意して予習する。教科書の例文を暗記し、非人称表現に慣れるように復習する。	1
第14回	zu 不定句	英語と大きく異なる点に注意して予習する。zu 不定句の語順を確かめながら教科書の練習問題を解いて復習する。	1
第15回	まとめ	予習としてこれまでの学習で理解不十分な箇所を確認する。理解不十分な箇所を重点的に復習する。	1
教科書・参考書等			
ドイツ語Aのものを継続して用いる。 新倉真矢子 (他) 「ゲナウ! グラマティック ノイ」 第三書房、2018年 (2,200円+税)			
成績評価方法・基準			
100点満点で60点以上を合格とする。			

42	韓国語 B AGE-LE-281	選択 1単位 1年後期	
Korean B			
全学科1年全組 非常勤講師 黄 孝善			
授業の達成目標	授業形態		
韓国の全般的な知識を深めて、日常生活に必要な表現など、簡単な生活会話を学ぶ。	○ 単独 (1人が全回担当)		
	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)		
	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)		
	クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要	該当科目		
韓国文化の紹介など、韓国の総合的な資料を使用し、読解力と表現力を高める。	教職科目 (工業)		
	教職科目 (情報)		
	地域志向科目		
実務経験を活かした教育について	実務経験のある教員担当		
	アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	イントロダクション [名詞+です]にあたる韓国語の丁寧形の復習 (~입니다体と~요体)	【予習】教科書の会話編第1・2課復習。 【復習】講義内容の復習。	1
第2回	漢語数字と練習	【予習】日本語の数え方について調べておく。 【復習】第2課の漢字語数字を覚える。またその使い方について復習。	1
第3回	固有語数字と練習	【予習】韓国語の固有語数字の読みと文字を覚える。 【復習】第3課の固有語数字を覚える。またその使い方について復習。	1
第4回	名詞の否定形	【予習】第4課の単語を覚えておく。 【復習】第4課の助詞「~가」と名詞の否定文の練習。	1
第5回	指示代名詞	【予習】第5課の単語を覚えておく、また、日本語のこれ・それ・あれの使い方について調べる。 【復習】第5課の指示代名詞とその短縮形を覚える。	1
第6回	第1課～5課のまとめ	【予習】教科書の pp.48～49の問題を解く。 【復習】これまでの名詞文について復習する。	1
第7回	韓国映画鑑賞	【予習】現代韓国人の生活について調べておく。 【復習】映画の中から見えてくる韓国人の生活と自分が調べたものと比較してみる。	1
第8回	韓国映画鑑賞討論	【予習】鑑賞内容のまとめと発表文作成。 【復習】映画や他の人の鑑賞、自分が調べたものを元に韓国文化について考えてみる。	1
第9回	位置の表現と存在動詞	【予習】第6課の位置に関連する単語を覚えておく。 【復習】位置を示す単語と存在動詞を組み合わせ、会話文の練習をする。	1
第10回	「します」と「名詞+します」	【予習】第7課の単語を覚えておく。 【復習】名詞+しますにあたる韓国語を練習する。	1
第11回	動詞・形容詞の丁寧形「~습니다体」	【予習】第8課の単語を覚えておく。 【復習】動詞・形容詞の丁寧形「~습니다体」の使い方を練習する。	1
第12回	動詞・形容詞の否定形	【予習】第9課の単語を覚えておく。 【復習】動詞・形容詞の否定形、二つの否定方法を練習する。	1
第13回	動詞・形容詞の丁寧形「~요体」	【予習】第10課の単語を覚えておく。 【復習】動詞・形容詞の丁寧形「~요体」の使い方を練習する。	1
第14回	動詞・形容詞文の活用の総合復習と過去形	【予習】これまでの動詞・形容詞文の丁寧形について復習しておく。 【復習】pp.72～73のまとめ問題を解く。	1
第15回	まとめと試験	【予習】これまでの講義内容や教科書の確認。 【復習】試験後に間違ったところを再復習する。	1
教科書・参考書等			
教科書「かんたん！韓国語」金殷模・権来順・宋貞熹・文慶喆 著 朝日出版社			
成績評価方法・基準			
定期試験 50%、小テスト 30%、課題 10%、授業貢献度 10%により総合的に評価する。課題については、授業時に、全体に対しフィードバックを行う。			

43	中国語 B AGE-LE-291	選択 1単位 1年後期	
Chinese B			
全学科 1 年全組 非常勤講師 徐 麗			
授業の達成目標	前期に習得したことを基礎として、中国語の発音・文法の向上を目指す。	授業形態	
		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	中国語 A と同じテキストを使用し、その続きを学んでいく。単語や文法についての学習を進め、中国語及び中国について理解を深める。	該当科目	
		教職科目 (工業)	
		教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
アクティブラーニング			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	第七課 西安 西安	西安の町を訪ねる事を背景に主述述語文・量詞・助詞“了”・時間の量とその位置を予習復習する。	1
第2回	第八課 上海世界博览会	第7課の復習及び第8課の方向動詞と方向補語・前置詞“人”“”比較表現“比”と“没有”を予習復習する。	1
第3回	コラム	若者のマイホーム事情・兵馬俑・西安・上海などの映像にて文化紹介・聴力練習する。	1
第4回	第九課 国名	第8課の復習及び第9課の結果述語・選択疑問文述是“・前置詞“腐”・副詞“狂”の予習復習する。	1
第5回	第十課 苏州园林	第9課の復習及び第10課の動詞“喜次”経験を表す“”数量補語・動詞“了”を予習復習する。	1
第6回	第十一課 天坛	第10課の復習及び第11課の様態補語・方位詞・前置詞“用”・二重目的語・を予習復習する。	1
第7回	第十二課 少林寺	第11課の復習及び第12課助動詞“会”前置詞“对”・助詞“了”・動詞“初”を予習復習する。	1
第8回	コラム	漢字ですべて表記する中国・蘇州の伝統庭園・世界遺産「天壇」・少林寺をテーマに映像にて文化紹介・聴力練習する。	1
第9回	第十三課 清明节	第12課の復習及び第13課の一・・・就・・・助動詞“要”・前置詞“”副詞“別”を予習復習する。	1
第10回	第十四課 在茶馆喝茶	第13課の復習及び第14課の“把”・先・・・、然后(再)・「一点」・一辺・・・一辺を予習復習する。	1
第11回	第十五課 京剧	第14課の復習及び第15課の疑問詞“焦久”助詞“的”・・・一件・使「役文を予習復習する。	1
第12回	第十六課 798 艺术区	第15課の復習及び第16課の存現文・可能補語・助動詞“能”・受身文を予習復習する。	1
第13回	コラム	清明節・中国のお茶・京劇・798 芸術区などの映像紹介・聴力練習する。	1
第14回	総復習	すべての単語をピンイン入力にて復習する。映像などにて言葉の繰り返し練習する。	1
第15回	まとめと試験	後半の講義すべてについて、教科書・ノート等で確認する。講義内容、配付資料等で整理、確認を行い復習する。後期期末試験をする。	1
教科書・参考書等			
教科書「入門ビジュアル中国」衛榕群・汪晓京 著 朝日出版社			
成績評価方法・基準			
すべての練習問題の記入 (平常 10 点) 及び期末試験 (90 点) を総合して判断する。			

44	健康・運動科学実習 I (サッカー)	AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soccer)			
E・A・C・K 1年全組 非常勤講師 松原 悟			
授業の達成目標		授業形態	
技術・戦術・ルールを理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
フットサルの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス(授業概要・成績評価の説明) 健康科学講義：ライフスタイルと健康(運動、栄養、休養)	予習(選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習(履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基本技術の習得(キック、トラップの習得) フットサルのゲーム(受講者の理解)	予習(技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	応用技術の習得(動きながらの技術の習得) 経験者、未経験者に分けたゲーム	予習(技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基本戦術の理解(攻撃)	予習(攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく) 復習(攻撃の基本戦術を確認し練習しておく)	1
第5回	基本戦術の理解(守備)	予習(守備の基本戦術のポイントについて調べておく) 復習(攻撃の基本戦術を確認し練習しておく)	1
第6回	ゲーム(コミュニケーションを図る)	予習(コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく) 復習(コミュニケーション技術のポイントについて自身の課題を整理する)	1
第7回	リーグ戦(1)(ポジションと役割の確認)	予習(ポジションと役割のポイントについて調べておく) 復習(ポジションとその役割の違い等についてポイントを整理する)	1
第8回	リーグ戦(2)(戦術を立ててゲームを進める)	予習(リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる) 復習(ゲーム後に検証を行う)	1
第9回	リーグ戦(3)(組織力の向上を目指す)	予習(組織力を向上させるためのポイントについて調べておく) 復習(組織力を向上させるためのトレーニングを考える)	1
第10回	トーナメント(自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営)	予習(自チーム、他チームのゲーム分析を行う) 復習(ゲーム分析を活かす戦術を調べる)	1
第11回	トーナメント(審判法の確認と実施)	予習(審判技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された審判法を確認しておく)	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習(より高度な技術のポイントについて調べておく) 復習(スポーツ活動の継続方法をプランする)	1
第13回	体力測定(屋内種目)	予習(体力測定項目について調べておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定(屋外種目)	予習(体力測定項目について調べておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポート課題健康科学講義：ライフステージにおける健康課題(青年期以降の対策)	予習(授業の振り返りのための技術、戦術、ルールのポイントについて確認しておく) 復習(授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜配付する。			
成績評価方法・基準			
ゲームでの成績、個人の実践能力、課題レポート等により総合的に評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (サッカー)	AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soccer)		
T 1 年全組 非常勤講師 草野 修治			
授業の達成目標		授業形態	
1. ゲームの中で充実感や楽しさを味わえるようになること。 2. 基本戦術を理解すること。 3. 集団の中で自分の行動や役割を客観的に見つめることができるようになること。 4. QOL の向上に資するスポーツへの取り組み方の要点を把握すること。		<input type="radio"/> 単独 <small>(1人が全回担当)</small> <input type="radio"/> 複数 <small>(1回の授業を2人以上が一括に担当)</small> <input type="radio"/> オムニバス <small>(各回の担当教員が異なる場合)</small> <input type="radio"/> クラス分け <small>(クラス分けで担当する)</small>	
授業の概要		該当科目	
本授業では、フットサルの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。同時に、スポーツの生活化、QOL (生活の質) の向上に資するスポーツへの取り組み方の学習、また生涯にわたってスポーツを正しく実践していく態度の養成を目指す。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	オリエンテーション授業概要の説明 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	チーム編成と試しのゲーム	予習 (ルールと基本的な技術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	主に足を使ったボール遊び+ミニゲーム	予習 (ボールコントロールのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	ボールコントロールの練習+ミニゲーム	予習 (ボールコントロールにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	種々のシュート練習+ミニゲーム	予習 (シュート技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	基本戦術の理解 (攻撃) +ミニゲーム	予習 (攻撃における基本的な戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	基本戦術の理解 (守備) とリーグ戦準備 (チーム分け)	予習 (守備における基本的な考え方について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	チーム内練習とリーグ戦第1節 (目標：試合の流れを把握すること)	予習 (一般的な試合の流れについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	チーム内練習とリーグ戦第2節 (目標：自主的な試合運営を行うこと)	予習 (チーム内で前回の課題を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	チーム内練習とリーグ戦第3節 (目標：チーム毎に戦術をたてて実践すること)	予習 (チーム内で戦術について検討しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	リーグ戦第4節 (目標：チーム課題への取り組みとその評価)	予習 (チーム内で前回の課題を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された課題や成果を確認し練習しておく)	1
第12回	順位決定戦とチームミーティング	予習 (チームの課題や成果を確認し共有しておく) 復習 (授業で説明された課題や成果を確認しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義：ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜、資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (ソフトテニス)	AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soft Tennis)			
E・A・C・K 1年全組 非常勤講師 池田 晃一			
授業の達成目標		授業形態	
ソフトテニスの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もソフトテニスの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめていきます。ソフトテニスの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を促え、身体リテラシーを向上させることを目的としています。ソフトテニスの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ソフトテニスをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。		○	単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一組に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。		○	教職科目 (工業)
		○	教職科目 (情報)
			地域志向科目
			実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について			アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポートの書き方 健康科学講義：ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (ソフトテニス)	AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Soft Tennis)			
T 1年全組 非常勤講師 高橋 晃			
授業の達成目標		授業形態	
ソフトテニスの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もソフトテニスの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめていきます。ソフトテニスの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的としています。ソフトテニスの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ソフトテニスをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成します。		○	単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一組に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。		○	教職科目 (工業)
		○	教職科目 (情報)
			地域志向科目
			実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について			アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回~第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポートの書き方 健康科学講義：ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (バドミントン)	AGE-MPH-110	選択 1単位 1年前期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Badminton)			
全学科 1年全組 非常勤講師 伊藤 常久			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとしてバドミントンの楽しみ方や運営方法等を理解するため、運動の特性、基本技術およびゲームの進め方について学習し、さらには対人コミュニケーション能力を養う。		<input type="radio"/>	単独 (1人が全回担当)
		<input type="radio"/>	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
		<input type="radio"/>	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
		<input type="radio"/>	クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、バドミントンの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はリーグ戦によるゲームを中心に、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		<input type="radio"/>	教職科目 (工業)
		<input type="radio"/>	教職科目 (情報)
		<input type="radio"/>	地域志向科目
		<input type="radio"/>	実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/>	アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解) 健康科学講義: ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	(ダブルス) 基本動作の理解 (ショット、レシーブ、フォーメーション)	予習 (ダブルスにおける基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	(ダブルス) リーグ戦準備 (ショット、レシーブ、フォーメーション)	予習 (ダブルスによるリーグ戦のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	(ダブルス) リーグ戦1 (様々なショット・レシーブの活用)	予習 (ダブルスにおける様々なショットの活用について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	(ダブルス) リーグ戦2 (フォーメーション・戦略の活用)	予習 (ダブルスにおけるフォーメーションについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	(シングルス) 基本動作の理解 (ショット、レシーブ)	予習 (シングルスにおける基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	(シングルス) リーグ戦1 (個人戦)	予習 (シングルの試合におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	(シングルス) リーグ戦2 (団体戦)	予習 (団体戦における戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	(シングルス) リーグ戦2 (団体戦)	予習 (団体戦における戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	レベル別リーグ戦1 (パートナーとの戦術・戦略の理解)	予習 (パートナーとの戦術・戦略のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	レベル別リーグ戦2 (個人戦)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	レベル別リーグ戦3 (団体戦)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめとレポートの書き方 健康科学講義: ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中に提示する課題の達成度、リーグ戦での成績および課題レポートを総合的に評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (バレーボール) AGE-MPH-110		選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Volley ball)		
全学科1年全組 教授 高野 淳司			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツや健康づくりの一つとしてバレーボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
バレーボールは、走・跳・打の基本的な運動要素および敏捷性、巧緻性、判断力などが要求されるスポーツである。バレーボールに必要な身体能力・スキルを身につけるとともに、ゲームを通じて攻防におけるチームワークの大切さを身につける。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等の説明) 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	ゲーム (技能水準の確認)	予習 (ルールと基本動作について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	個人技能の学習と練習法 (パス・サーブ・レシーブの基礎) ゲーム	予習 (パス・サーブ・レシーブの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	個人技能の学習と練習法 (パス・サーブ・レシーブの応用) ゲーム	予習 (パス・サーブ・レシーブにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	個人技能の学習と練習法 (スパイクやブロックの基礎) ゲーム	予習 (スパイクやブロックの基本動作やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	個人技能の学習と練習法 (スパイクやブロックの応用) ゲーム	予習 (スパイクやブロックにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	集団技能の学習と練習法 (フェイントやコンビネーションの基礎) ゲーム	予習 (フェイントやコンビネーションにおけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	集団技能の学習と練習法 (フェイントやコンビネーションの応用) ゲーム	予習 (フェイントやコンビネーションにおける自身の課題について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	集団技能の学習と練習法 (セーフティとサイン攻撃) ゲーム	予習 (サイン攻撃の種類などについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	リーグ戦 (1) (基本ルールとローカルルールの確認)	予習 (基本ルールとローカルルールの違いについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	リーグ戦 (2) (審判法の確認)	予習 (基本ルールとローカルルールの違いについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	リーグ戦 (3) (試合運営を洗練させる)	予習 (自身の技術や戦術の課題について振り返っておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	まとめ健康科学講義：ライフステージにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
必要に応じてルール、練習方法等に関する資料を授業中に配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業運営上の協力や役割遂行状況およびリーグ戦での戦績等を総合的に評価する。			

44	健康・運動科学実習 I (マルチスポーツ) AGE-MPH-110		選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Multi Sports)		
E・T・C・K 1年全組 非常勤講師 金野 麻衣			
授業の達成目標		授業形態	
生涯にわたり継続的にスポーツを楽しむための資質や能力を身につけることを目的に各種の基本的なトレーニングを 実践する。それぞれのトレーニングがもたらす効果を理解し、各人の目的に応じてトレーニング方法を選択できる能 力を養う。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
様々なトレーニングに関する目的や方法を学び、実践していく中でその効果についての理解を深める。また、スポー ツテストおよび体力測定などの活動を通し、スポーツ科学を応用したトレーニング方法の考え方を学習する。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、受講方法、評価方法についての説明) 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	トレーニングの基本	予習 (様々なトレーニング手法について調べておく) 復習 (授業で説明された技術を確認し練習しておく)	1
第3回	ウォーミングアップ、ストレッチング	予習 (ウォーミングアップやストレッチの具体例について調べておく) 復習 (授業で説明された技術を確認し練習しておく)	1
第4回	ウェイトトレーニング (マシントレーニング)	予習 (マシントレーニングの種類と留意点について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第5回	ウェイトトレーニング (フリーウェイトトレーニング)	予習 (「フリーウェイトトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第6回	ウェイトトレーニング (自重トレーニング)	予習 (「自重トレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第7回	各人に応じたウェイトトレーニングメニューの作成	予習 (自身のトレーニングメニューについて検討しておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第8回	サーキットトレーニング	予習 (「サーキットトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第9回	プライオメトリックトレーニング	予習 (「プライオメトリックトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第10回	エンデュランストレーニング	予習 (「エンデュランストレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第11回	コーディネーショントレーニング	予習 (「コーディネーショントレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第12回	メンタルトレーニングの理論と実際	予習 (「メンタルトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義：ライフステー ジにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜、資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業における課題達成度やレポートおよび実技の技能を総合的に評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。			

44	健康・運動科学実習 I (マルチスポーツ) AGE-MPH-110		選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Multi Sports)		
T 1年全組 非常勤講師 犬塚 剛			
授業の達成目標		授業形態	
生涯にわたり継続的にスポーツを楽しむための資質や能力を身につけることを目的に各種の基本的なトレーニングを 実践する。それぞれのトレーニングがもたらす効果を理解し、各人の目的に応じてトレーニング方法を選択できる能 力を養う。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
様々なトレーニングに関する目的や方法を学び、実践していく中でその効果についての理解を深める。また、スポー ツテストおよび体力測定などの活動を通じ、スポーツ科学を応用したトレーニング方法の考え方を学習する。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		<input type="checkbox"/> 地域志向科目	
		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容、受講方法、評価方法についての説明) 健康科学講義：ライフスタイルと健康 (運動、栄養、休養)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	トレーニングの基本	予習 (様々なトレーニング手法について調べておく) 復習 (授業で説明された技術を確認し練習しておく)	1
第3回	ウォーミングアップ、ストレッチング	予習 (ウォーミングアップやストレッチの具体例について調べておく) 復習 (授業で説明された技術を確認し練習しておく)	1
第4回	ウェイトトレーニング (マシントレーニング)	予習 (マシントレーニングの種類と留意点について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第5回	ウェイトトレーニング (フリーウェイトトレーニング)	予習 (「フリーウェイトトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第6回	ウェイトトレーニング (自重トレーニング)	予習 (「自重トレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第7回	各人に応じたウェイトトレーニングメニューの作成	予習 (自身のトレーニングメニューについて検討しておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第8回	サーキットトレーニング	予習 (「サーキットトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第9回	プライオメトリックトレーニング	予習 (「プライオメトリックトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第10回	エンデュランストレーニング	予習 (「エンデュランストレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第11回	コーディネーショントレーニング	予習 (「コーディネーショントレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第12回	メンタルトレーニングの理論と実際	予習 (「メンタルトレーニング」について調べておく) 復習 (授業で説明された技術について確認しておく)	1
第13回	体力測定 (屋内種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定 (屋外種目)	予習 (体力測定項目について確認しておく) 復習 (自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義：ライフステー ジにおける健康課題 (青年期以降の対策)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜、資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業における課題達成度やレポートおよび実技の技能を総合的に評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。			

44	健康・運動科学実習 I (基礎ゴルフ) AGE-MPH-110		選択 1単位 1年前期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences I (Basic Golf)		
全学科1年全組 准教授 本田 春彦			
授業の達成目標		授業形態	
ゴルフの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もゴルフの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめる。ゴルフ（主にアプローチ）の実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的とする。ゴルフの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、ゴルフをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
学内の限られた空間（野球場）の中で、ゴルフというスポーツの全てを学ぶことは出来ないが、スウィングとショットの基本を体験し、特に短い距離のショット（アプローチ）の正確性とバリエーションを追求する。工夫とマナーの遵守によって創造的で楽しい運動学習の機会を得る。		<input type="radio"/> 教職科目（工業）	
		<input type="radio"/> 教職科目（情報）	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス(授業概要・成績評価の説明) 健康科学講義：ライフスタイルと健康(運動、栄養、休養)	予習(選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習(履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	静止ボールを打ってみる	予習(クラブの握り方やスタンスについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	静止ボールを打つ時の課題	予習(自身の課題を振り返っておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	スウィング運動とクラブ軌道の関係を調べ、自己管理する	予習(スウィングとクラブの軌道のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	飛球弾道と飛距離の調節と方向のコントロール方法	予習(飛距離の調節技術や方向のコントロール技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	スウィングのリズムとインパクト時のクラブフェースの管理	予習(スウィングのリズムやフェースコントロールのポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	コントロールショットの正確性の追求とパター練習	予習(コントロールショット技術のポイントについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	ゴルフゲームの特性とルール、マナーの重要性	予習(ラウンドする際のルールとマナーについて調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ミニコースの設定とラウンドの試み(パー3の仮コース)	予習(スウィング技術の振り返りをしておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ゲームの実際とラウンドマナーの実践(4ホール)	予習(ラウンドマナーやルールについて再確認しておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ゲームの実践とスコア記録提出(6ホール)	予習(技術・マナー・ルールの振り返りとスコア記録の手法について調べておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	9ホールミニコースのラウンド実践とスコア記録の提出	予習(第2回～第11回の振り返りと自身の課題を確認しておく) 復習(授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	体力測定(屋内種目)	予習(体力測定項目について確認しておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第14回	体力測定(屋外種目)	予習(体力測定項目について確認しておく) 復習(自身の測定値と全国平均の比較をして課題を整理する)	1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義：ライフステージにおける健康課題(青年期以降の対策)	予習(授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習(授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜、資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ（ソフトボール）	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Softball)			
全学科1年全組 教 授 高野 淳司			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツや健康づくりの一つとしてソフトボールを実践し、本種目の競技特性、チームスポーツの楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養う。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、ソフトボールの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はゲーム形式主体の授業を中心に、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		<input type="radio"/> 教職科目（工業）	
		<input type="radio"/> 教職科目（情報）	
		<input type="radio"/> 地域志向科目	
		<input type="radio"/> 実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		<input type="radio"/> アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解） 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	ソフトボールのためのトレーニング（受講者の理解）	予習（基本的なトレーニング技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	ソフトボールゲーム（練習試合）ルールや基本技術の確認	予習（ルールや基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	ソフトボールゲーム（練習試合）ポジションや打順等の理解	予習（「ポジション」や「打順」について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）チーム内の戦力分析	予習（チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）チーム内の戦力分析	予習（チーム内の戦力分析のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）戦術の理解	予習（ゲームにおける戦術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	チーム再編成、および強化練習	予習（チーム内の戦力分析とその対応（強化）のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）主に打撃に焦点をあてて	予習（打撃技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	ソフトボールゲーム（リーグ戦）主に守備に焦点をあてて	予習（守備技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	正式試合Ⅰ 審判法の理解	予習（審判技術とルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	正式試合Ⅱ さまざまな戦術を駆使したゲーム	予習（ゲームにおける戦術について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント②（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
特になし（必要な場合は適時授業時に資料を配付する。）			
成績評価方法・基準			
ソフトボールゲームでの成績、個人の能力評価、及び毎回の授業運営上の協力や役割遂行状況、課題レポートを総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ (テニス) AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期	
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Tennis)			
E・A・C・K 1年全組 非常勤講師 池田 晃一			
授業の達成目標	生涯スポーツや健康づくりの一つとしてテニスを実践し、本種目の競技特性、楽しさ、ゲーム運営の方法等を理解・体得する。また、他者とのコミュニケーション力を養う。	授業形態	
授業の概要		○ 単独 (1人が全回担当)	
		○ 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		○ オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) ○ クラス分け (クラス分けで担当する)	
実務経験を活かした教育について	該当科目		
実務経験を活かした教育について	○ 教職科目 (工業)		
	○ 教職科目 (情報)		
	○ 地域志向科目		
	○ 実務経験のある教員担当		
	○ アクティブラーニング		
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①(感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのボレー練習)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストローク練習)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー)	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	応用練習 (サーブ サーブ&ボレー)	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	実践練習 (試合形式での練習)	予習 (第3回～第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ダブルスの試合 (試合の進め方の理解)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ダブルスの試合 (審判のやり方の理解)	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ダブルスの試合 (戦術の立て方の理解)	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ダブルスの試合 (自主的な試合の運営)	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント② (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ダブルスの成績および課題レポート等で総合評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ (テニス) AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期	
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (テニス)			
T 1年全組 非常勤講師 門間 陽樹			
授業の達成目標	硬式テニスの特性を理解し、硬式テニスの楽しさ、試合の運営方法等を理解できるようにする。	授業形態	
		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要	ダブルスによるゲームを中心に進めて行く。そのなかで、経験の有無や、技術レベルに関わらず、コンビネーションの重要性を理解しながらゲームを楽しめるように進めて行く。	該当科目	
		<input type="radio"/> 教職科目 (工業) <input type="radio"/> 教職科目 (情報) <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業の進め方等) 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①(感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎練習 (主にラケット操作に慣れる) とミニゲーム (3人制)	予習 (ラケット操作技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎練習 (主にボールに慣れる) とミニゲーム (3人制)	予習 (ボレー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎練習 (主にサービスエリア内でのストロークおよびボレー練習) とミニゲーム (3人制)	予習 (サービスエリア内でのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	応用練習 (ベースラインでのストローク) とミニゲーム (3人制)	予習 (ベースラインでのストローク技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	応用練習 (ストローク&ボレー、サーブ&ボレー) とダブルスのルールの確認	予習 (ストローク・ボレーでのラリー技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	チーム練習とチーム内紅白戦 (1) ダブルスの実践	予習 (サーブやサーブ&ボレーの技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	チーム練習とリーグ戦 (1) 試合の進め方の理解	予習 (第3回～第7回の振り返りとルールの確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	チーム練習とリーグ戦 (2) 審判のやり方の理解	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	チーム練習とリーグ戦 (3) 戦術の立て方の理解	予習 (ダブルスの試合における審判技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	プレーオフ (1) 戦術を磨く	予習 (ダブルスの試合における戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	プレーオフ (2) 自主的な試合の運営	予習 (ダブルスの試合におけるゲームの進行について確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめ 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント② (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
必要に応じて資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、ゲームの成績および課題レポート等で総合評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ (バスケットボール) AGE-MPH-211		選択 1単位 1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (basketball)		
全学科1年全組 准教授 本田 春彦			
授業の達成目標		授業形態	
バスケットボールの基本技術から扱い、はじめて実践する場合もゴルフの種目特性を十分に理解し、実践できるように授業をすすめる。バスケットボールの実技実習を通じて健康の維持増進のための手段として身体活動を捉え、身体リテラシーを向上させることを目的として、バスケットボールの理論や技術を習得していくと同時に、学生間のコミュニケーションの促進を図り、バスケットボールをきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
バスケットボールは、走・跳・投の基本的な運動要素および敏捷性、巧緻性、判断力などが要求されるスポーツです。バスケットボールに必要な身体能力・スキルを身につけるとともに、ゲームを通じて攻防におけるチームワークの大切さを身につけます。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	授業の進め方、評価について (ガイダンス) 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①(感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する。) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎技術 (セットシュート、ドリブル、パス) の習得、ミニゲーム	予習 (セットシュート、ドリブル、パスにおける技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎技術 (レイアップシュート、1on1) の習得、ミニゲーム	予習 (レイアップシュート技術や1on1のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎戦術 (スクリーンプレイ) の習得、ハーフコート3on3、ミニゲーム	予習 (スクリーンプレイ技術や3on3のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	リーグ戦の準備 (チームの発表)、チームごとの紅白戦 (ルールの理解、オールコート5on5に挑戦)	予習 (試合におけるルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	リーグ戦1 (試合の流れを把握する)	予習 (試合の流れやルールについて再確認しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	リーグ戦2 (審判、個人スタッツの記録について理解する)	予習 (審判や個人スタッツの記録方法について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	リーグ戦3 (チーム内における自身の役割を理解する (基本戦術の理解))	予習 (ポジションやその役割について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	リーグ戦4 (戦術を磨く：ディフェンスの戦術に挑戦・ゾーンディフェンス)	予習 (ゾーンディフェンスのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	リーグ戦5 (チーム戦術を磨く：ファーストブレイクの意識)	予習 (ファーストブレイクのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	プレーオフ1 (チームで戦術を磨く：セットプレーの意識)	予習 (セットプレーのポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	プレーオフ2 (自主的な試合運営)	予習 (ゲーム進行におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	総括とレポートの書き方 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント②(メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適宜、資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
授業中に提示する課題の達成度、実技の技能および課題レポートを総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ（フットサル）	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Futsal)			
E・A・C・K 1年全組 非常勤講師 松原 悟			
授業の達成目標		授業形態	
技術・戦術・ルールを理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
サッカーの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。		<input type="radio"/> 教職科目（工業） <input type="radio"/> 教職科目（情報） 地域志向科目 実務経験のある教員担当 アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業概要・成績評価の説明） 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基本技術の習得（キック、トラップの習得）サッカーのゲーム（受講者の理解）	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	応用技術の習得（動きながらの技術の習得）経験者、未経験者に分けたゲーム	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基本戦術の理解（攻撃）	予習（攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第5回	基本戦術の理解（守備）	予習（守備の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第6回	ゲーム（コミュニケーションを図る）	予習（コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく） 復習（コミュニケーションの技法のポイントについて整理する）	1
第7回	リーグ戦（1）（ポジションと役割の確認）	予習（ポジションと役割のポイントについて調べておく） 復習（ポジションと役割のポイントを確認する）	1
第8回	リーグ戦（2）（戦術を立ててゲームを進める）	予習（リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる） 復習（ゲーム後に検証を行う）	1
第9回	リーグ戦（3）（組織力の向上を目指す）	予習（組織力を向上させるためのポイントについて調べておく） 復習（組織力を向上させるためのトレーニングを考える）	1
第10回	トーナメント（自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営）	予習（自チーム、他チームのゲーム分析を行う） 復習（ゲーム分析を活かす戦術を調べる）	1
第11回	トーナメント（審判法の確認と実施）	予習（審判技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された審判法を確認しておく）	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習（より高度な技術のポイントについて調べておく） 復習（スポーツ活動の継続方法をプランする）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント②（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ（フットサル）	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Futsal)			
T 1年全組 非常勤講師 黒澤 尚			
授業の達成目標		授業形態	
技術・戦術・ルール理解と実践。体力の向上や協調性を主体としたコミュニケーション能力を磨くことを学ぶ。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当) <input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) <input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) <input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
サッカーの要素である技術・戦術・体力・精神力・ルールを教材に、ゲーム形式で授業を展開する。スポーツを通じて、コミュニケーションを図りながら、スポーツ・健康への理解度を高める。		<input type="radio"/> 教職科目（工業） <input type="radio"/> 教職科目（情報） 地域志向科目 実務経験のある教員担当 アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業概要・成績評価の説明） 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基本技術の習得（キック、トラップの習得）サッカーのゲーム（受講者の理解）	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	応用技術の習得（動きながらの技術の習得）経験者、未経験者に分けたゲーム	予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基本戦術の理解（攻撃）	予習（攻撃の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第5回	基本戦術の理解（守備）	予習（守備の基本戦術のポイントについて調べておく） 復習（攻撃の基本戦術を確認し練習しておく）	1
第6回	ゲーム（コミュニケーションを図る）	予習（コミュニケーションを図る上での伝達方法のポイントについて調べておく） 復習（コミュニケーションの技法のポイントについて整理する）	1
第7回	リーグ戦（1）（ポジションと役割の確認）	予習（ポジションと役割のポイントについて調べておく） 復習（ポジションと役割のポイントを確認する）	1
第8回	リーグ戦（2）（戦術を立ててゲームを進める）	予習（リーグ戦を進める上で、対戦相手を研究し作戦をたてる） 復習（ゲーム後に検証を行う）	1
第9回	リーグ戦（3）（組織力の向上を目指す）	予習（組織力を向上させるためのポイントについて調べておく） 復習（組織力を向上させるためのトレーニングを考える）	1
第10回	トーナメント（自チーム、相手チームの戦力分析に基づく試合運営）	予習（自チーム、他チームのゲーム分析を行う） 復習（ゲーム分析を活かす戦術を調べる）	1
第11回	トーナメント（審判法の確認と実施）	予習（審判技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された審判法を確認しておく）	1
第12回	技能レベルに分けたゲーム	予習（より高度な技術のポイントについて調べておく） 復習（スポーツ活動の継続方法をプランする）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント②（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ（卓球）	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Table Tennis)			
E・A・C・K 1年全組 非常勤講師 土井 豊			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとして卓球の楽しみ方や運営方法を理解するため、運動の特性、基本技術、およびゲームの進め方について学習する。卓球の理論・技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、卓球をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		<input type="radio"/>	単独 (1人が全回担当)
		<input type="radio"/>	複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
		<input type="radio"/>	オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
		<input type="radio"/>	クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、卓球の基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はシングルスおよびダブルスのリーグ戦によるゲームを中心に行い、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		<input type="radio"/>	教職科目（工業）
		<input type="radio"/>	教職科目（情報）
		<input type="radio"/>	地域志向科目
		<input type="radio"/>	実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解） 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント①（感染症の基礎知識）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	基礎技術（ラケットの選択やボールの扱いに慣れる）	予習（ラケットやボールの特徴について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	基礎技術（フォアハンド、サーブ）の習得およびミニ・ゲーム	予習（フォアハンドやサーブの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	基礎技術（バックハンド）の習得およびミニ・ゲーム	予習（バックハンドの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	基礎戦術（カット・スマッシュ）の習得およびミニ・ゲーム	予習（カット・スマッシュの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	基礎戦術（サービス）の習得およびミニ・ゲーム	予習（サービスの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	基礎戦術（ボレー）の習得およびミニ・ゲーム	予習（ボレーの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ゲーム1（シングルスとダブルスのルールを覚え、自分たちでジャッジできるようになる）	予習（シングルスとダブルスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ゲーム2（リーグ戦（団体戦）：ゲームに慣れる）	予習（第2回～第8回の再確認をしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	ゲーム3（リーグ戦（団体戦）：戦術を立てる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	ゲーム4（リーグ戦（団体戦）：戦術を磨く）	予習（ゲームにおける戦術を振り返り、課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	ゲーム5（プレーオフ（団体戦）：自主的な試合運営）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習（自身の生活習慣について見直す） 復習（課題を整理しておく）	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る（測定）	予習（体力測定の実施方法を調べておく） 復習（測定用紙のグラフの作成をする）	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義：心身の健康の保持増進のためのポイント②（メンタルヘルスの諸問題）	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

45	健康・運動科学実習Ⅱ (卓球)	AGE-MPH-211	選択 1単位 1年後期
	Practice of Health, Exercise and Physical Sciences II (Table Tennis)		
T 1年全組 非常勤講師 犬塚 剛			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとして卓球の楽しみ方や運営方法を理解するため、運動の特性、基本技術、およびゲームの進め方について学習する。卓球の理論・技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、卓球をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		<input type="radio"/> 単独 (1人が全回担当)	
		<input type="radio"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		<input type="radio"/> オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		<input type="radio"/> クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、卓球の基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。なお各回の授業はシングルスおよびダブルスのリーグ戦によるゲームを中心に行い、その試合数、勝敗を集計し総合的に評価する。		<input type="radio"/> 教職科目 (工業)	
		<input type="radio"/> 教職科目 (情報)	
		地域志向科目	
		実務経験のある教員担当	
実務経験を活かした教育について		アクティブラーニング	
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業内容と進め方の理解) 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント① (感染症の基礎知識)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	基礎技術 (ラケットの選択やボールの扱いに慣れる)	予習 (ラケットやボールの特徴について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第3回	基礎技術 (フォアハンド、サーブ) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (フォアハンドやサーブの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第4回	基礎技術 (バックハンド) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (バックハンドの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第5回	基礎戦術 (カット・スマッシュ) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (カット・スマッシュの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第6回	基礎戦術 (サービス) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (サービスの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第7回	基礎戦術 (ボレー) の習得およびミニ・ゲーム	予習 (ボレーの技術やポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第8回	ゲーム1 (シングルスとダブルスのルールを覚え、自分たちでジャッジできるようになる)	予習 (シングルスとダブルスのルールについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第9回	ゲーム2 (リーグ戦 (団体戦): ゲームに慣れる)	予習 (第2回~第8回の再確認をしておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第10回	ゲーム3 (リーグ戦 (団体戦): 戦術を立てる)	予習 (ゲームにおける戦術について調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	ゲーム4 (リーグ戦 (団体戦): 戦術を磨く)	予習 (ゲームにおける戦術を振り返り、課題について検討しておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	ゲーム5 (プレーオフ (団体戦): 自主的な試合運営)	予習 (ゲーム進行におけるポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第13回	生活習慣診断検査と自己分析	予習 (自身の生活習慣について見直す) 復習 (課題を整理しておく)	1
第14回	運動中の心拍数の変化を知る (測定)	予習 (体力測定の実施方法を調べておく) 復習 (測定用紙のグラフの作成をする)	1
第15回	まとめとレポート課題 健康科学講義: 心身の健康の保持増進のためのポイント② (メンタルヘルスの諸問題)	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（ゴルフ）	AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science (Golf)		
全学科2年全組 教 授 高野 淳司 准 教 授 本田 春彦 非常勤講師 池田 晃一			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツや健康づくりの一つとしてゴルフを実践し、本種目の競技特性や楽しさ、コンペラウンド等の運営方法等を理解・体得する。他者とのコミュニケーション力を養います。授業前半で基本的なゴルフスイング（ショット・アプローチ・パット）の基本技術を理解・習得し、それをもとに授業後半でラウンドするミニコースで実際に実践することが出来るようになることを目標とする。		<input type="radio"/> 単独 （1人が全回担当） <input type="radio"/> 複数 （1回の授業を2人以上が一組に担当） <input type="checkbox"/> オムニバス （各回の担当教員が異なる場合） <input type="checkbox"/> クラス分け （クラス分けで担当する）	
授業の概要		該当科目	
この集中コースは、夏期休業中に学外のゴルフ専用施設を利用して実施する。授業前半はゴルフ打球練習場でのスイングの基本技術の習得と応用、授業後半はミニゴルフ場でのショートコースの実践ラウンドを行い受講者の技術習得度を受講者自身で確認する。なおこの集中コースは、実習に要する経費の一部は受講生の自己負担となる。		<input type="checkbox"/> 教職科目（工業） <input type="checkbox"/> 教職科目（情報） <input type="checkbox"/> 地域志向科目 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員担当 <input type="checkbox"/> アクティブラーニング	
実務経験を活かした教育について			
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス ゴルフの基礎理論：「用具の活用、スイング動作、ボールヒッティング」についての説明	予習（用具や基本動作について調べておく） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	打球場での学習と練習「アプローチ基礎」	予習（アプローチ技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	打球場での学習と練習「アプローチ応用」	予習（状況に応じたアプローチ技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	打球場での学習と練習「ショートアイアン基礎」	予習（ショートアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	打球場での学習と練習「ショートアイアン応用」	予習（状況に応じたショートアイアン技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン基礎」	予習（ミドルアイアンのスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	打球場での学習と練習「ミドルアイアン応用」	予習（状況に応じたミドルアイアン技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	打球場での学習と練習「ドライバー、パター」	予習（ドライバーのスイングやパターの基本について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	打球場での学習と練習「模擬ラウンド」	予習（ラウンドを想定した練習における自身の課題について確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	ショートコースでのマナー学習と練習（バンカー、グリーン周り）	予習（バンカーやグリーン周りにおけるマナーについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	ショートコース（9ホール、パー27）を練習ラウンド	予習（第1回～第10回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	打球場での学習と練習「ラウンド実践に向けての調整」	予習（練習ラウンドを通じて発見した課題を再確認し、練習しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	ショートコースローカルルール、マナー確認	予習（「ローカルルール」やマナーについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	ショートコース（9ホール、パー27）をラウンド実践	予習（第11回～第13回の振り返りと、自身の課題を再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	到達度チェック、最終実技試験	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時資料を配付する。また、視聴覚映像を使用する。			
成績評価方法・基準			
基礎実技、応用実技の達成度、コースラウンド結果及び課題レポートを総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（スキー）		AGE-MPH-320	選択	1単位	2年前期（集中講義）
	Practice of Sports Science (Ski)					
全学科2年全組	教 授 高野 淳司 准教授 本田 春彦 非常勤講師 池田 晃一	非常勤講師 金野 麻衣 非常勤講師 草野 修治 非常勤講師 森田 清美		非常勤講師		未定
授業の達成目標				授業形態		
スキーの基礎技術や応用技術を習得し、自分の技量に応じたスキースポーツの楽しみ方を見つける。スキーヤーとして必要な安全配慮やスキー場でのルールやマナーを身につける。				<input type="checkbox"/> 単独 (1人が全回担当) <input checked="" type="checkbox"/> 複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当) オムニバス (各回の担当教員が異なる場合) クラス分け (クラス分けで担当する)		
授業の概要				該当科目		
この集中コースは前期開講科目であるが冬季スポーツであるため後期に実施される3泊4日の実技実習を経て1単位が認定される。実習は技能に応じた班別指導が行われ、班別集団演技等によって技能の向上が図られるだけでなく、人間交流も含めた共同生活を通じてルールやマナーも学び、総合学習の機会として意義深い。ただしこの集中コースは、実習に要する経費は学生の自己負担となる。				教職科目（工業） 教職科目（情報） 地域志向科目 実務経験のある教員担当 アクティブラーニング		
実務経験を活かした教育について						
授業計画（各回の学習内容等）						
	学習内容（授業方法）		学習課題（予習・復習）		時間(時)	
第1回	ガイダンス（クラス分け） スキースポーツの特性とスキー技術論、スキーと安全、用具の知識とその活用についての説明		予習（用具や基本技術、安全上の留意点などについて調べておく） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）		1	
第2回	技能テスト1「班分け」		予習（技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第3回	基礎技術「緩斜面での安全滑走」		予習（滑走と止まり方の技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第4回	基礎技術「緩斜面での制動・回転技術」		予習（緩斜面での回転技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第5回	応用技術「緩斜面での大回り」		予習（パラレルターンの大回りについて技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第6回	応用技術「緩斜面での小回り」		予習（パラレルターンの小回りについて技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第7回	応用技術「中斜面滑走」		予習（中斜面での滑走における技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第8回	技能テスト2「到達レベルチェック、班再編」		予習（第3回～第7回の授業の振り返りをしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第9回	発展技術「中斜面での大回り」		予習（中斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第10回	発展技術「中斜面での小回り」		予習（中斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第11回	発展技術「中・急斜面での大回り」		予習（急斜面での大回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第12回	発展技術「中・急斜面での小回り」		予習（急斜面での小回りにおける技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第13回	基礎実技練習「制動・回転技術」		予習（制動や回転技術について振り返りをしておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第14回	応用実技練習「班別団体演技」		予習（自身にとって課題となる動作について確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1	
第15回	技能テスト3「基礎実技、応用実技」まとめ		予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）		1	
教科書・参考書等						
適時、資料を配付する 参考書 SAJ 編 日本スキー教程 理論編 指導実技編検定編						
成績評価方法・基準						
学内・学外授業の全日程参加を必須条件とし、受講中の課題達成状況や役割遂行状況、および実習日誌（レポート）等について総合的に評価する。						

46	スポーツ科学実習（ニュースポーツ）		AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (New Sports)			
E・T・A・C科2年全組 准教授 本田 春彦				
授業の達成目標			授業形態	
生涯スポーツとしてさまざまなニュースポーツの楽しみ方を理解する。その競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			○ 単独 (1人が全回担当)	
			複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
			クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要			該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、いくつかのニュースポーツの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。			教職科目（工業）	
			教職科目（情報）	
			地域志向科目	
実務経験を活かした教育について			実務経験のある教員担当	
			アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）				
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）		時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）		1
第2回	フライングディスクを使ったスポーツ1（フライングディスクの扱いに慣れる）	予習（フライングディスクのスローイング技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第3回	フライングディスクを使ったスポーツ2（ディスクゴルフのルールを覚える）	予習（ディスクゴルフのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第4回	フライングディスクを使ったスポーツ3（ディスクゴルフのゲーム）	予習（ディスクゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第5回	フライングディスクを使ったスポーツ4（アルティメットのルールを覚える）	予習（アルティメットのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第6回	フライングディスクを使ったスポーツ5（アルティメットの戦術をたてる）	予習（アルティメットのゲーム戦略について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第7回	フライングディスクを使ったスポーツ6（アルティメットのトーナメント戦－試合の流れを把握する－）	予習（アルティメットのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第8回	フライングディスクを使ったスポーツ7（アルティメットのリーグ戦－運営を行う－）	予習（アルティメットのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第9回	ボウリング1（ルールの理解、基本動作の練習）	予習（ボウリングの基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第10回	ボウリング2（ボウリングの個人戦－ゲームに慣れる－）	予習（ボウリングのルールを理解し、ゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第11回	ボウリング3（ボウリングのリーグ戦－団体戦の試合運営を行う－）	予習（ボウリングのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第12回	ターゲットバードゴルフ1（ルールの理解、スイングの基本動作の習得）	予習（ターゲットバードゴルフのルールや基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第13回	ターゲットバードゴルフ2（さまざまな距離に応じたスイングを身につける）	予習（距離に応じたスイング技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第14回	ターゲットバードゴルフ3（ターゲットバードゴルフのためのゲーム）	予習（ターゲットバードゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）		1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）		1
教科書・参考書等				
適時授業時に資料を配付する。				
成績評価方法・基準				
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。				

46	スポーツ科学実習（ニュースポーツ） AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (New Sports)		
K 2年全組 非常勤講師 黒澤 尚			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとしてさまざまなニュースポーツの楽しみ方を理解する。その競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業を聞かっけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、いくつかのニュースポーツの基本技術やルールを習得し、受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することで、できるだけ個々の運動量を確保できるよう授業をすすめていく。		教職科目（工業）	
		教職科目（情報）	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	フライングディスクを使ったスポーツ1（フライングディスクの扱いに慣れる）	予習（フライングディスクのスローイン技術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	フライングディスクを使ったスポーツ2（ディスクゴルフのルールを覚える）	予習（ディスクゴルフのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	フライングディスクを使ったスポーツ3（ディスクゴルフのゲーム）	予習（ディスクゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	フライングディスクを使ったスポーツ4（アルティメットのルールを覚える）	予習（アルティメットのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	フライングディスクを使ったスポーツ5（アルティメットの戦術をたてる）	予習（アルティメットのゲーム戦略について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	フライングディスクを使ったスポーツ6（アルティメットのトーナメント戦－試合の流れを把握する－）	予習（アルティメットのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	フライングディスクを使ったスポーツ7（アルティメットのリーグ戦－運営を行う－）	予習（アルティメットのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	サッカーテニス1（ルールの理解、基本動作の練習）	予習（サッカーテニスの基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	サッカーテニス2（サッカーテニスの個人戦－ゲームに慣れる－）	予習（サッカーテニスのルールを理解し、ゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	サッカーテニス3（サッカーテニスのリーグ戦－運営を行う－）	予習（サッカーテニスのゲーム進行について再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	フットゴルフ1（ルールの理解、基本的なキックの習得）	予習（フットゴルフのルールや基本動作について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	フットゴルフ2（さまざまな距離に応じたキックを身につける）	予習（距離に応じたキックの種類とそのポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	フットゴルフ3（サッカーゴルフのためしのゲーム）	予習（フットゴルフのゲーム進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配布する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（ネットスポーツ）	AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
Practice of Sports Science (Net Sports)			
E・T・A・C 2年全組 非常勤講師 土井 豊			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとしてさまざまなネット形式のスポーツの楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		○	単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。			教職科目（工業）
			教職科目（情報）
			地域志向科目
			実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について			アクティブラーニング
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	インディアカ(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（インディアカの打ち方など基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	インディアカ(2)（連携プレーの実践とミニゲーム）	予習（レシーブ・トス・アタックの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	インディアカ(3)（リーグ戦の準備・試合の流れを把握する）	予習（ルールやゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	インディアカ(4)（リーグ戦第1節・チームの戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	インディアカ(5)（リーグ戦第2節・チームの戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	インディアカ(6)（リーグ戦第3節・自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	バウンドテニス(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（ボールの打ち方や技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	バウンドテニス(2)（ルールの把握とミニゲーム）	予習（バウンドテニスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	バウンドテニス(3)（リーグ戦の準備、チーム分け）	予習（基本動作やルールについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	バウンドテニス(3)（リーグ戦第1節、試合の流れを把握する）	予習（ゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第2節、戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第3節、戦術をみがく）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	バウンドテニス(5)（リーグ戦第4節、自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（ネットスポーツ） AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Net Sports)		
K 2年全組 准教授 本田 春彦			
授業の達成目標		授業形態	
生涯スポーツとしてさまざまなネット形式のスポーツの楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。		○ 単独 (1人が全回担当)	
		複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)	
		オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)	
		クラス分け (クラス分けで担当する)	
授業の概要		該当科目	
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。		教職科目（工業）	
		教職科目（情報）	
		地域志向科目	
実務経験を活かした教育について		実務経験のある教員担当	
		アクティブラーニング	
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	インディアカ(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（インディアカの打ち方など基本技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	インディアカ(2)（連携プレーの実践とミニゲーム）	予習（レシーブ・トス・アタックの技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	インディアカ(3)（リーグ戦の準備・試合の流れを把握する）	予習（ルールやゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	インディアカ(4)（リーグ戦第1節・チームの戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	インディアカ(5)（リーグ戦第2節・チームの戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	インディアカ(6)（リーグ戦第3節・自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	バウンドテニス(1)（基本技術の習得とミニゲーム）	予習（ボールの打ち方や技術のポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	バウンドテニス(2)（ルールの把握とミニゲーム）	予習（バウンドテニスのルールについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	バウンドテニス(3)（リーグ戦の準備、チーム分け）	予習（基本動作やルールについて再確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	バウンドテニス(3)（リーグ戦第1節、試合の流れを把握する）	予習（ゲームの進行について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第2節、戦術をたてる）	予習（ゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	バウンドテニス(4)（リーグ戦第3節、戦術をみがく）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	バウンドテニス(5)（リーグ戦第4節、自主的な試合運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（フィールドゲーム） AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Field Games)		
E・T・A・C 2年全組 教 授 高野 淳司			
授業の達成目標			授業形態
生涯スポーツとしてさまざまな屋外競技の楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			○ 単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要			該当科目
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。			教職科目（工業）
			教職科目（情報）
			地域志向科目
			実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について			アクティブラーニング
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	キックベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（キックベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	キックベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	ラケットベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ラケットベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	ラケットベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	ティーボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ティーボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	ティーボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ソフトボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ソフトボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ソフトボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	野球(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（野球の基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	野球(2)（チームの戦術をたてる）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	野球(3) リーグ戦の運営第1節（個人技術のレベルアップを図る）	予習（課題のある技術について改善ポイントを確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	野球(4) リーグ戦の運営第2節（戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	野球(5) リーグ戦の運営第3節（自主的な試合の運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習（フィールドゲーム） AGE-MPH-320		選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Field Games)		
K 2年全組 非常勤講師 門間 陽樹			
授業の達成目標			授業形態
生涯スポーツとしてさまざまな屋外競技の楽しみ方を理解する。各競技の特性を理解し必要な技術を習得していくと同時に、他者とのコミュニケーションの活性化を図り、本授業をきっかけとしてスポーツに親しむ態度を育成する。			○ 単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要			該当科目
運動を行う際に必要な心身の準備について解説するとともに、授業でとりあげる屋外種目についての基本技術やルールを習得する。受講者全体のレベルに応じた特設ルールを設定することでできるだけ個々の運動量を確保出来るよう授業を進めていく。			教職科目（工業）
			教職科目（情報）
			地域志向科目
実務経験を活かした教育について			実務経験のある教員担当
			アクティブラーニング
授業計画（各回の学習内容等）			
	学習内容（授業方法）	学習課題（予習・復習）	時間(時)
第1回	ガイダンス（授業内容と進め方の理解）	予習（選択する種目等についてシラバスで確認する。） 復習（履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する）	1
第2回	キックベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（キックベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第3回	キックベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第4回	ラケットベースボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ラケットベースボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第5回	ラケットベースボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第6回	ティーボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ティーボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第7回	ティーボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第8回	ソフトボール(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（ソフトボールの基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第9回	ソフトボール(2)（戦術をたてて試合運営を行う）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第10回	野球(1)（基本技術の習得とルールの理解）	予習（野球の基本動作について技術やポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第11回	野球(2)（チームの戦術をたてる）	予習（ルールやゲームにおける戦術について調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第12回	野球(3) リーグ戦の運営第1節（個人技術のレベルアップを図る）	予習（課題のある技術について改善ポイントを確認しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第13回	野球(4) リーグ戦の運営第2節（戦術を磨く）	予習（戦術の確認や課題について検討しておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第14回	野球(5) リーグ戦の運営第3節（自主的な試合の運営を行う）	予習（ゲーム進行におけるポイントについて調べておく） 復習（授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく）	1
第15回	まとめ	予習（授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく） 復習（授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う）	1
教科書・参考書等			
適時授業時に資料を配付する。			
成績評価方法・基準			
毎回の授業中の課題達成度や役割の遂行状況、課題レポート、技術の習得状況、ミニゲームやリーグ戦の成績等により総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習 (フィットネス・トレーニング)	AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
Practice of Sports Science (Fitness・Training)			
E・T・A・C 2年全組 非常勤講師 森田 清美			
授業の達成目標		授業形態	
健康づくりのための運動の意義と目的を充分理解し、自分の目標に向けた運動・トレーニングを実践すること。また、自身で目標達成の度合いを把握し、評価できるようになること。		○	単独 (1人が全回担当)
			複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
			オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
			クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要		該当科目	
生活習慣に運動を取り入れながら健康を維持するためのトレーニング方法や、トレーニングの目標を決め、達成までトレーニングスケジュールを立て、実践していく方法を学ぶ。			教職科目 (工業)
			教職科目 (情報)
			地域志向科目
			実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について			アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)			
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)	時間(時)
第1回	ガイダンス (授業概要・授業の進め方・成績評価の説明)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)	1
第2回	体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など) 安静時心拍数、脈拍などのデータ測定	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)	1
第3回	測定データの説明、運動の設定 (強度、頻度、時間、種目) についての解説	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (自身の運動プログラム案の作成をする)	1
第4回	ストレッチング、ウォーミングアップ、クーリングダウン	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (動作のポイントを整理して反復練習をする)	1
第5回	課題を基にしたエクササイズの実践	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (エクササイズ動作を整理して反復練習をする)	1
第6回	ウェイトトレーニング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (自重負荷トレーニングの実践をする)	1
第7回	サーキットトレーニングとリラクゼーション	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (疲労回復のためのリラクゼーションの実践をする)	1
第8回	ヨガ	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ヨガの実践をする)	1
第9回	ポールウォーキング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ポールウォーキングの動作ポイントの確認とポールワークの練習をする)	1
第10回	レクリエーションスポーツの実践	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第11回	レクリエーションスポーツ (バウンドテニスなど)	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)	1
第12回	生活習慣病と運動・トレーニング処方	予習 (生活習慣病とその原因について調べておく) 復習 (授業で説明された生活習慣病とその予防方法について調べておく)	1
第13回	再測定 (体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など))	予習 (測定のポイントについて調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)	1
第14回	再測定の結果を基にした運動強度の設定	予習 (運動強度の設定のポイントについて調べておく) 復習 (再測定の結果をふまえ、自身の運動プログラム案を作成する)	1
第15回	総評、測定データの振り返り、レポート提出	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)	1
教科書・参考書等			
随時、資料・ビデオを用意し、提供する。			
成績評価方法・基準			
毎回の個人記録、授業中の課題の習得度、活動内容、レポート提出等について総合的に評価する。			

46	スポーツ科学実習 (フィットネス・トレーニング)		AGE-MPH-320	選択 1単位 2年前期
	Practice of Sports Science (Fitness・Training)			
K 2年全組 非常勤講師 犬塚 剛				
授業の達成目標			授業形態	
健康づくりのための運動の意義と目的を充分理解し、自分の目標に向けた運動・トレーニングを実践すること。また、自身で目標達成の度合いを把握し、評価できるようになること。			○	単独 (1人が全回担当)
				複数 (1回の授業を2人以上が一緒に担当)
				オムニバス (各回の担当教員が異なる場合)
				クラス分け (クラス分けで担当する)
授業の概要			該当科目	
生活習慣に運動を取り入れながら健康を維持するためのトレーニング方法や、トレーニングの目標を決め、達成までトレーニングスケジュールを立て、実践していく方法を学ぶ。				教職科目 (工業)
				教職科目 (情報)
				地域志向科目
				実務経験のある教員担当
実務経験を活かした教育について				アクティブラーニング
授業計画 (各回の学習内容等)				
	学習内容 (授業方法)	学習課題 (予習・復習)		時間(時)
第1回	ガイダンス (授業概要・授業の進め方・成績評価の説明)	予習 (選択する種目等についてシラバスで確認する) 復習 (履修登録や実施場所等の授業全体のルールについて確認する)		1
第2回	体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など) 安静時心拍数、脈拍などのデータ測定	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)		1
第3回	測定データの説明、運動の設定 (強度、頻度、時間、種目) についての解説	予習 (測定項目の内容について調べておく) 復習 (自身の運動プログラム案の作成をする)		1
第4回	ストレッチング、ウォーミングアップ、クーリングダウン	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (動作のポイントを整理して反復練習をする)		1
第5回	課題を基にしたエクササイズの実践	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (エクササイズ動作を整理して反復練習をする)		1
第6回	ウェイトトレーニング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (自重負荷トレーニングの実践をする)		1
第7回	サーキットトレーニングとリラクゼーション	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (疲労回復のためのリラクゼーションの実践をする)		1
第8回	ヨガ	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ヨガの実践をする)		1
第9回	ポールウォーキング	予習 (動作のポイントについて調べ、練習しておく) 復習 (ポールウォーキングの動作ポイントの確認とポールワークの練習をする)		1
第10回	レクリエーションスポーツの実践	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)		1
第11回	レクリエーションスポーツ (バウンドテニスなど)	予習 (技術のポイントについて調べておく) 復習 (授業で説明された技術やルールを確認し練習しておく)		1
第12回	生活習慣病と運動・トレーニング処方	予習 (生活習慣病とその原因について調べておく) 復習 (授業で説明された生活習慣病とその予防方法について調べておく)		1
第13回	再測定 (体力測定、身体測定 (体脂肪、BMI、肥満度など))	予習 (測定のポイントについて調べておく) 復習 (測定用紙のチェックとグラフの作成をする)		1
第14回	再測定の結果を基にした運動強度の設定	予習 (運動強度の設定のポイントについて調べておく) 復習 (再測定の結果をふまえ、自身の運動プログラム案を作成する)		1
第15回	総評、測定データの振り返り、レポート提出	予習 (授業の振り返りのための技術のポイントについて確認しておく) 復習 (授業全体を通して課題達成に対する総合的な自己評価と振り返りを行う)		1
教科書・参考書等				
随時、資料・ビデオを用意し、提供する。				
成績評価方法・基準				
毎回の個人記録、授業中の課題の習得度、活動内容、レポート提出等について総合的に評価する。				

47

特別課外活動 I

AGE-IDP-010

選択 1単位 1年前期～4年後期

Off-class Practice I

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

48

特別課外活動Ⅱ AGE-IDP-020

選択 1単位 1年前期～4年後期

Off-class Practice Ⅱ

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

49

特別課外活動Ⅲ AGE-IDP-030

選択 2単位 1年前期～4年後期

Off-class Practice Ⅲ

詳細については、シラバスの『特別課外活動』についてのページを参照のこと。

50	他大学等教養科目群 AGE-IDP-040	選択 4単位 1年後期～4年前期
Subjects offered other universities		
<p>詳細については、シラバスの「他大学開講科目」、CAMPUS LIFE の「学都仙台単位互換ネットワーク協定および国内外の大学等との単位互換に関する協定に基づく東北工業大学特別聴講学生取扱要項」を参照のこと。</p>		